

令和3年度

「みんなの井戸端会議」

意見・提言集

(令和3年12月:全地区開催分)

遠野市総務企画部

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言取りまとめ結果

◆対応区分 A…趣旨に沿って措置したもの B…実現に向け努力しているもの C…当面は実現できないもの D…実現が極めて困難なもの

◆地区別

町名 (参加者数)	意見・提言数	対応区分			
		A	B	C	D
遠野町 (参加者数 39人)	24件	1件	14件	6件	3件
綾織町 (参加者数 50人)	28件	4件	20件	4件	0件
小友町 (参加者数 16人)	15件	3件	11件	0件	1件
附馬牛町 (参加者数 40人)	14件	0件	8件	4件	2件
松崎町 (参加者数 34人)	22件	2件	12件	4件	4件
土淵町 (参加者数 46人)	17件	5件	9件	0件	3件
青笹町 (参加者数 31人)	14件	5件	6件	2件	1件
上郷町 (参加者数 42人)	27件	5件	19件	3件	0件
宮守町宮守 (参加者数 18人)	22件	6件	13件	1件	2件
宮守町達曾部 (参加者数 24人)	11件	2件	3件	2件	4件
宮守町鱒沢 (参加者数 26人)	24件	5件	15件	2件	2件
合計 (366人)	218件	38件 17.4%	130件 59.6%	28件 12.8%	22件 10.1%

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
1	12月12日	遠野	令和2年度に、住民で負担し舗装工事をしたが、今後、30年、40年の間に更新等の諸工事が必要となってくる。市条例で市長が認めた場合は市道にできるとあるので、今後、私道のランク付けをするなどして、検討してほしい。	建設課	周辺の状況が大きく変わるなど、道路の位置づけが変わらない場合には、私道を市道認定することはありません。	D
2	12月12日	遠野	要望したことが実施できるのか、できないのかははっきりしてほしい。行政が市民の要望したことに対応することは、市の進歩につながると思う。	政策担当	市民の皆様からご要望いただいた内容等については、緊急性や効果等を勘案して優先順位を付け、順次実現に向けて取り組んでいます。 限られた財源の中で、一つずつ課題の解決に努めておりますので、ご理解願います。	B
3	12月12日	遠野	道路の陥没、土砂の流出、用水路の清掃、カーブミラーの増設をお願いしたい。	建設課	市道等の管理施設の維持・修繕については、引き続き、市民の皆様から頂いた情報を基に行っていきます。 用水路については、受益者の管理する施設と認識しておりますので、受益者による管理が基本と考えます。	B
4	12月12日	遠野	市職員も行政区の行事によく参加してほしい。そして、各区が抱えている課題を共有してほしい。	総務課	職員が地域活動に積極的に参加できるよう、事務事業の見直しによる業務の効率化や働き方改革を推進します。 また、地域貢献制度や地域担当職員制度を活用した地域づくりへの意識づけを図っており、今後も地域の一員として役割を担うよう取組を進めていきます。	B
5	12月12日	遠野	5年、6年前から電柱の地中埋設化の話があったと思う。地中埋設化することで、カラスの糞害が少なくなると思う。 また、一箇所だけで、カラス対策をしても他の地区や場所に行くだけなので、バランスを見ながら対策をする必要がある。できるだけ山に追い出すような対策を検討してほしい。	農林課 まちづくり推進課	カラス対策の一つとしての電線の地中化は、平成28年に策定した遠野市中心市街地活性化基本計画で、遠野駅前通りを対象として計画していました。しかしながら、この道路は県道であり、関係機関との協議を行っていますが、実現に至っていません。	D
6	12月12日	遠野	小さな拠点づくりが今年から始まり、行政区合併への対応、ハード整備、まちづくり計画の作成・企画・予算化など各地域づくり団体の拠点である事務局(地区センター)は大きな役割を担うとともに負担が掛かってくる。どうフォローして、解決するかが大事になってくると思う。	地域づくり応援室	小さな拠点による地域づくり施策は、平成28年から取組を始めています。最初に取り組んだ地区地域づくり計画は、地域主体で地域課題を解決しながら地域づくりを進めることを目的として策定され、みんなで築くふるさと遠野推進事業一括交付型補助金を財源として、様々な事業が展開されています。 市の総合計画との整合性を図りつつ、各地区の計画も見直ししながら、継続的な事業展開を推進していきます。市も地域づくり応援室を新設し支援していますが、更にフォローの仕方などを検討していきます。	B
7	12月12日	遠野	地球温暖化、再生可能エネルギーの導入、景観の調和などがあるが、農業と再生可能エネルギーが共存しているような例もある。メガソーラー等の設置は、安定的な固定資産税の確保などにもつながるので、景観保全、安全面に配慮しながら進めてほしい。	政策担当	本市では、平成27年に新エネルギービジョンを策定するなど、再生可能エネルギーの導入に向けた取組を進めてきました。 しかしながら、市内の大規模太陽光発電事業において、河川環境の破壊や地域住民とのトラブルが発生したことから、こうした問題を防ぐために、条例を改正し、市内における大規模太陽光発電事業を規制しました。 今後は、このような問題が発生しないよう本市独自の『基準』を策定し、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの適切な導入に努めます。	B
8	12月12日	遠野	6区に本庁舎が建設されたが、同地区は高齢化と人口減少が激しいので、市役所職員も同地区の行事、清掃活動等に協力してほしい。	総務課	職員厚生会として清掃事業を行うなど、地域の環境整備等の活動を行っていきます。	C

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
9	12月12日	遠野	議会の一般質問などで、物件費が37億円、38億円という答弁があった。5年前(平成27年度)は総事業費218億円、そのうち物件費が30億円で比率が約15%だったが、令和2年度は約17%と上がっている。 財政力指数や将来負担率も14市中だと下位なので、きちんと将来を見据え、目標を決めて運営してほしい。	財政担当	物件費は、公の施設の指定管理料や光熱水費等の建物の維持管理に係る経費だけではなく、人件費や維持補修費、扶助費、補助費等以外の市が支出する経費であるため、賃金や旅費、各種業務委託料、使用料なども含まれます。令和2年度は、令和元年10月1日からの消費税率引き上げや行政事務の包括アウトソーシングの導入等により増加しています。 財政力指数は、平成27年度0.27から令和2年度0.31と微増しており、将来負担率は平成27年度79.1%から令和2年度60.3%と減少しています。 今後も、令和3年度から令和7年度を実施期間として策定した、第四次健全財政5カ年計画に基づき財政の安定化に努めていきます。	B
10	12月12日	遠野	運動公園や早瀬河川敷にサッカーゴールやバスケットゴールを設置すれば、子ども達が運動できる場所も増え、住みやすいまちになると思う。 また、ウォーキングをしている人たちが、早瀬河川敷を冬場は積雪で通れないので、歩けるように除雪してほしい。	市民協働課	市民に親しまれる施設づくりに努めています。運動公園には、平成28年に遊具を追加整備し、わんぱく広場をリニューアルしました。今後も、市民のご要望に応えられるよう施設運営に努めていきます。 運動公園、河川グラウンドは、冬期間休園しているため除雪は行っておりません。	B
11	12月12日	遠野	広報遠野の総合カレンダーのごみの日の周知などは、全世帯に年1回配布されているのでいらないと思う。代わりに、遠野市で実施されるイベント等の情報を載せれば良いのではないかと。	政策担当	イベント情報のニーズがあることは認識しています。総合カレンダー内にイベント情報を掲載していた時期もありますが、「膨大にあるイベント全ての情報把握、掲載が難しい」「掲載可否の基準が必要だが公平性の確保が難しい」などの要因から廃止しております。 ごみの日の掲載については、有効に活用いただいている市民の声も寄せられており、慎重な判断が必要です。 今後は、いただいたご意見も参考にしながら、市民の皆さまのニーズに応えられるよう、紙面の有効活用を検討していきます。なお、現在の総合カレンダーは、取り外して利用いただけますので、各家庭のカレンダーとしても活用いただければ幸いです。	C
12	12月12日	遠野	山にウォーキングに行った際に、遠野遺産の説明版が見えなくなっていた。きちんと整備しておく必要があるのではないかと。	文化課	遠野市では、認定された遠野遺産には表示板を設置しており、破損等している場合は市で修繕を行っています。一方で、遠野遺産自体の修理や説明板の設置などの事業は、市民協働の理念に基づき、遺産の推薦団体等が各地区に配分される地域一括交付金を活用し実施していただいています。 今後も各地域づくり団体や自治会と連携を図りながら、遠野遺産制度を推進し、地域振興につなげていきます。	B
13	12月12日	遠野	市役所に「すぐやる課」を作るべき。	総務課	各課において迅速な対応を行うよう組織のスリム化と職員への働きかけを行っています。	C
14	12月12日	遠野	相談等で行くと複数課をたらい回しにされる時がある。また、それは内容によって、県の所管になりますと言われることもあり、中々解決しない時がある。	総務課	各課において迅速な対応を行うよう組織のスリム化と職員への働きかけを行っています。	B
15	12月12日	遠野	全町一括で300万円ではなく、均等割と世帯割を設定し交付した方が良いのではないかと。	地域づくり応援室	地域課題を、住民主体で解決する活動に資することを目的とした制度です。地域課題は、地域事情による要因が大きく、世帯数だけで状況を判断出来ないものと思っています。また、事業の多くは一定の地元負担を頂いて実施されていますが、世帯数の少ない地区はその負担も相対的に大きくなることもあります。 制度としては、一律の金額でスタートしましたが、今後は活動の状況により交付額の見直しを検討していきます。	C

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
16	12月12日	遠野	遠野地区は約7,000人いる地区の活動を3人でやっている。もう少し人手があればと思うが、どう考えているか。	地域づくり応援室	地区センターだけでなく、NPO等による市民活動センターの設置など各地区での活動の支援体制を増やしていきたいと考えています。	B
17	12月12日	遠野	地域おこし協力隊の任命はどのように決めているのか。 また、農業などの分野で従事している方が多いが、スポーツ振興、地域まちづくりなどにも従事してもらえるのか。	六次産業室	遠野市の産業振興、特に農林水産業分野において生産振興やブランド化が図られるよう関係機関と連携し計画的に任用しています。 地域おこし協力隊は、地域の活性化全般が活動分野であるため、市内の関係者の要望を把握して検討していきます。	B
18	12月12日	遠野	駅前から大工町に向かう道路わきの歩道、大工町の両側の歩道及び来内のダムに向かう歩道で、住居等の出入りのためだと思うが、全て斜めに舗装されている所がある。歩くときや自転車が通る際に、冬場は凍り危険だと思うので、どうにかできないか。	建設課	歩道がマウンドアップの形態であるため、出入口の傾斜はやむを得ないと考えます。歩道路面が斜めになっているのは、車道面と民地面の段差を歩道部分で解消しているためです。 段差を解消するためには、歩道を車道と同じ高さにする、もしくは車道を歩道と同じ高さまで上げることが必要ですが、いずれも莫大な費用と時間を要することになるため、現状では困難と考えます。 今後の新規整備等を行う際には、ご提言を考慮して検討を行います。	D
19	12月12日	遠野	スケート場も閉園となり、冬期間に子ども達が遊べるところが少なくなってきた。ローラースケート場の設置なども考えてはどうか。	生涯学習スポーツ課	生涯スポーツやアスリートスポーツの推進を図る上で、施設の整備を含めたスポーツ環境の充実が必要不可欠なものと認識しています。 これまで、遠野運動公園や市民サッカー場をはじめ、市内のスポーツ施設については、必要に応じた大規模な改修や維持修繕に取り組み、市民のスポーツの場の提供を図っています。 新たな施設整備については、既存施設の維持管理や老朽化への対応等を見据え、市民や関係機関等のご意見も伺いながら、慎重に判断していきます。	C
20	12月12日	遠野	このような意見交換の場ですでに出された意見の中から取り入れたものは、広報でお知らせしてほしい。	政策担当	これまで開催してきた「市長と語る会」や、今回の「みんなの井戸端会議」などの市政懇談会でいただいた意見・提言に対しては、今後の対応方針についての回答をしています。 今後、更なる情報公開と市政の透明性を高めていくため、ご意見を踏まえた対応について検討していきます。	B
21	12月12日	遠野	市長の方針の中に、介護福祉の学校を作るとあったが、盛岡の方だと定員割れが発生しているようだが、規模、場所などをどのように考えているか、お聞きしたい。	健康長寿課	遠野市においても、少子化による若年人口の減少が続く中で、今後の介護サービス需要に対応していくためには、介護人材の育成・確保が大きな課題です。 全国的な少子化により、専門学校各種学校に限らず、大学等でも定員割れとなる傾向にあり、県内の介護福祉系の専門学校においても同様の状況であることは承知しています。 今後も、全国的に介護人材の不足が継続すると見込まれており、あらゆる可能性を排除せずに対応すべき状況にあります。 このことから介護職員の人材育成・確保を図る手法の一つとして、「介護専門学校の創立」の可能性を検討していきます。民間主導での創立を目指す考えから、規模、場所などは、現時点では未定です。	C

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
22	12月12日	遠野	観光客が、雨や日差しが強い日、大型車両が通る道路などを自転車で市内を回遊している光景を見ると、大変だろうと思う。遠野市の観光スタイルとして、それで良いのかと思う時がある。	観光交流課	近年のアウトドアブームや新型コロナの影響もあり、アクティブな体験企画が増加しており、他の地域でもマウンテンバイクを主とする企画も目立つようになってきました。レンタサイクル事業を行っている(一社)遠野市観光協会では、利用者に対して目的地までの行程や周辺情報を説明しており、状況によっては路線バスやレンタカーなどの紹介も行っています。 しかし、現在のサイクリング周遊コースの見直しや休憩地の紹介、危険度が低いルート設定等、企画自体の更新も必要であると考えており、(一社)遠野市観光協会と検討し、観光客が安全で気持ちよくサイクリングできるようにしていきます。 さわやかトイレの更新については、令和2年度に策定した「第3次観光・交流施設整備保全方針」に従い、整備を行っていきます。	B
23	12月12日	遠野	市から委嘱される役員、委員なども本当に必要なのか、はっきりとした形で示してほしい。役員改選の時期だが、役員等の担い手が不足しており、どうしていけば良いか悩んでいるので、支援してほしい。	総務課	行政区再編を実施する中で、各種委員等の適正な人数について見直しを行い、担い手の負担軽減を図っていきます。	B
24	12月12日	遠野	このような市政懇談会は、年1回だけでなく、何回か開催してほしい。	政策担当	今年度については、3月に「テーマ別井戸端会議」を開催する予定です。 次年度以降も、市長と市民の皆様が意見交換する場を多く設けていきます。	A
25	12月13日	小友	デマンド交通に小友町の高木が区域に入っていない。普通のバスに乗り遅れたりすることがあり、タクシーとなると数千円となる。利用地域に高木を加えてほしい。	市民協働課	法律の規定により、デマンドバスが運行できる地域は、バス等が通っていない「交通空白地」と呼ばれるエリアだけとされています。 ご要望の高木地区は、現在路線バスが運行しているため、重ねてデマンドバスを運行させることはできないルールとなっています。 しかし、厳しい現状を踏まえ、新たな公共交通システムについての検討が必要であると考えています。市内部で地域交通の在り方についての検討を始めたところであり、市民の皆さんからのご意見を頂きながら進めていきます。	B
26	12月13日	小友	12月に各世帯に配布された歳時記カレンダーにドライブマップのようなものがあるが、小友が除かれている。以前も同様のことがあり、載せてもらったことがあるが、また載らなくなった。市役所の仕事で申し送りなどがしっかり行われているのか疑問がある。	観光交流課	「歳時記カレンダー」は、(一社)遠野市観光協会が作成したものです。行政としての過度な干渉は避けつつも、(一社)観光協会の担当者だけではなく、組織的にチェック機能が働くよう、指導・助言をしていきます。 なお、今回の意見については、(一社)観光協会へ申し伝えました。	A
27	12月13日	小友	行政区の再編の話し合いの際、説明会議に限りなく近い話し合いであり、意見を言っても通らないので仕方がないという雰囲気になった。「話し合い」ということをベースにしてほしい。 小友の場合は、1つの区でいいという意見もあった。だが、それは想定していないということで、こちらの提案をはねつけられた。 5年10年後になれば、行政区との考え方も変わらなければいけないと思う。今後の将来に向かってのことだと言われれば、貴重な議論と経験を積んだと言えるのかもかもしれない。	地域づくり応援室	市全体、小友地区の将来を見据えて、今回の再編が決定されたものと認識しており、新しい行政区における活動の支援を行いたいと考えています。 少子高齢化、人口減少社会において、地域性を考慮しつつ、地域コミュニティ力を低下させることのないように、新しい枠組みで前に進んで行く必要があります。 各地域に地域づくり団体(地域運営団体)が設立され、これまで以上に地域の意見の取りまとめが可能な環境となっており、再編後の取組を踏まえながら、今後の地域の在り方について、検討、協議を行っていきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
28	12月13日	小友	旧中学校の建物について、コンクリートの残骸のような状態になっている。旧中学校の図書室で「たんげばっこの寺子屋」を運営しているが、非常に不便である。過去に跡地利用ということで、理科室を改装して、六次産業化の加工施設を作りたいという話が進み、国県の補助があるということで、見切り発車してしまった。いざ始まったら、4～5百万しか予算がないということで、理科室を壊して水を切ってしまったことから、トイレなどの水回りが一切使えなくなってしまった。もっといろいろなことに活用したいという思いがあるのだが、水のことが課題となっている。	管財担当	市の公共施設等総合管理計画個別計画では、利活用する施設に位置付けられていますが、具体的な利活用案が未定となっています。今後、地域の皆様からのご意見等をふまえながら利活用について検討を進めます。施設の修繕等については、利活用案の状況をふまえながら検討していきます。	B
29	12月13日	小友	ジビエというアイデアも出てきている。しかし、何がなくとも、旧中学校に水がなければ前に進まない。	管財担当	市の公共施設等総合管理計画個別計画では、利活用する施設に位置付けられていますが、具体的な利活用案が未定となっています。今後、地域の皆様からのご意見等をふまえながら利活用について検討を進めます。施設の修繕等については、利活用案の状況をふまえながら検討していきます。	B
30	12月13日	小友	小友町1000人ぐらいの人口という中で、保育園児が20人弱いる。今年は6人の新生児がいるが、未満児が増えると、入所できないかもという噂を聞いている。自分の地域で保育園に入れられないのであれば、職場の近くである北上などに転出するかも、という話がある。何とかしてほしい。	こども政策課	令和4年4月からの市内保育所等の利用につきましては、2月中の決定に向けて事務を進めています。皆様が希望の保育所等を利用できるよう各保育所と調整しておりますが、ご心配な点がございましたら担当課までお気軽にご相談願います。	B
31	12月13日	小友	デマンドバスも、運転手さんによっては、ここからならば乗れますよ、という話をしてくれたりもするのだが、市の規定だと使えないことになっていたりする。どっちが本当のことなのか。バスについても、買い物して荷物がある状況では、家まで歩けないという話もあったりする。デマンドについて、どこに連絡すればいいのかよく分からないので、分かるようお知らせしてほしい。路線バスが空バスで走っているが、市で何とか活用できないのか。他市でお買い物バスを出したりしている事例もあるようである。	市民協働課	デマンドバスは、自宅から運行エリア内にある行政機関や医療施設、商業施設などといった施設を乗降場所として指定し、その場所で利用していただくこととなります。各地区センターにデマンドバスのチラシを配架しているほか、市のホームページにも情報を掲載し周知しています。その他、各地区では交通弱者のための買い物バスの運行や、民間事業者と連携し市内各地で移動販売を展開するなど、徐々に支援事業が拡大されてきています。公共交通等の現在の仕組みを維持しながらも、不足分を補う交通形態ついて、引き続き検討していきます。	B
32	12月13日	小友	遠野は広いということでもあるが、全てまちの方にばかり造っているのではないのか。綾織からまちの方にばかりで、地域バランスが悪いのではないのか。小友には働く場がないので、どんどん若い人が出ていってしまう。小友に老人ホームのようなものを、学校の跡地に作ったらよいのではないのかという話もある。	政策担当	公共施設等の整備場所については、利用者の皆様の利用しやすさを第一と考えておりますが、今後は地域のバランスにも配慮していきます。地域への働く場の創出については、行政のみで実現できるものではなく、民間事業者の意向も踏まえながら取り組みを進めていきます。	B
33	12月13日	小友	シカの駆除というのは、夜は禁止なのか。昼間よりも夜の方が活発に動いていると思うが。	農林課	危険防止の観点から、日没後から日の出前までの時間帯における銃猟は禁止されています。わな猟については、時間による規制がないため、わな猟による捕獲を進めています。	A
34	12月13日	小友	鷹取屋の川口部落に、寺田平笹線という市道があるが穴だらけの道路である。立派にということではないが、少し舗装してほしい。芳館橋はコンクリートが粉になっていて、鉄筋がむき出しになっているような状況。	建設課	鷹鳥屋寺田平笹線の事と推察します。現状の把握を行い、予算限りとはなりますが危険な状況の解消に努めていきます。芳館橋は、平成29年度点検を行っており区分Ⅱ(予防保全段階)と判断していたところです。遠野市では区分Ⅲ(早期措置段階)の橋梁から補修を順次進めておりますが、芳館橋について損傷具合を確認し、必要に応じ対応していきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
35	12月13日	小友	人工透析をしている人がいる。透析後には体調が悪くて運転できないような状況であるし、その人の足の確保を考えてほしい。 地域で考えて地区センターまで連れてくることを考えてほしいと市から言われているが、こういった手法があるということを知ってもらえればと思う。	市民協働課	現在市では、各地区中心部までの基幹路線を市で確保し、各地区中心部から先の路線を地域で確保することで、持続可能な生活交通を構築することができると考えており、取組を進めています。 公共交通等の現在の仕組み維持しながらも、不足分を補う交通形態については、引き続き検討していきます。	B
36	12月13日	小友	若者に、夢を与えるような農業を考えてほしい。 兼業農家でも先を見出せるような農業のあり方を提案してもらえればという思いである。 小友はわりと大きい農家が多いのだが、若者がもっと夢を持てるようになってもらわないと、どんどん若者が農業を継いでくれなくなる。	農林課 畜産園芸課	現在、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の策定を進めており、今年度中に策定します。 この策定に合わせて、営農類型を様々な経営形態ごとに見直しを進めており、仕事・農業・生活が個々人の望むバランスで営めるタイプの提案を行いたいと考えています。	B
37	12月13日	小友	遠野のPR動画を見て、遠野に来る人はいるが、やっぱり生活できないといって、帰ってしまう人がいる。 季節によって、米を作ったり、山の仕事をしたりといったサイクル。一つの仕事しかないというのは、どうかと思う。	農林課	現在、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の策定を進めており、今年度中に策定します。 この策定に合わせて、営農類型を様々な経営形態ごとに見直しを進めており、仕事・農業・生活が個々人の望むバランスで営めるタイプの提案を行いたいと考えています。	B
38	12月13日	小友	遠野市は、若者の考えを発信する場が少ないと思う。若者の人口流出について、市もいろいろ説明しているが、若者が考えを言う機会がない。若者が生きづらい場所になっているから、どんどん離れていってしまっているのではないか。 アンケートでもいいが、市政に若者の意見を届ける場所を増やしてほしい。	生涯学習スポーツ課	市では、遠野市青年団体協議会の活動支援をはじめとした青少年団体の活動支援を行っています。また、生涯学習スポーツ課では社会教育を基盤とした「人づくり」などに向けた取組を行っているため、気軽にご相談します。 なお、既存の仕組みにとらわれず、SNSなどを活用して若者などのご意見を受け付ける仕組みを検討します。	A
39	12月13日	小友	遠野に来た人が、農業をやめていく理由の一つに、生産品を売る場所がないということが。産直といっても、組合員じゃないと売れないし、枠というものがあって、参加するのもハードルがある。 昔のことだが、誰が何を売ってもいい闇市みたいなものやっている農協があった。農協組合員であれば、だれでも売っていいという仕組みだったと思う。そういうことができる場があれば、定着する人も増えていくのではないか。	畜産園芸課	行政が誰もが自由に販売できる場所を確保することは難しいです。 市内において定期的に開催されている小規模なマルシェ(市場)や個人仲卸がありますので、販売したい農産物の量や内容により、個別相談に応じています。	D
40	12月14日	青笹	公共施設の点検等はしていると思うが、小学校や中学校の木が大きくなっている。2年前に白樺の木が根から腐って倒れた。けが人は出なかったが、そのようなところは点検しているのか。	学校教育課	毎年実施している学校施設・設備点検のほか、各学校で高木や老木等の調査を行い、危険樹木の把握とリスト化に努めています。 令和3年度は、小学校2校、中学校1校の危険度の高い樹木の伐採を行いました。 令和4年度以降についても、計画的に危険度に応じた伐採を進めます。	B
41	12月14日	青笹	市民憲章の内容が、これから遠野市が目指すべき姿になっている。市の総合計画もこれをもとにしている。市民にもっと伝えてほしい。 3つ目の産業の部分の部分が大事。多面的とか人農地とかがあるがやめていっている状況である。地域で地域の課題を解決していく仕組みづくりが大事になっている。	市民協働課	現在の遠野市民憲章は、平成18年9月6日に制定され、成人式をはじめ、さまざまな場面で市民憲章朗唱を行い、皆様に遠野市のまちづくりを考え、意識していただいています。周知を含め、まちづくりに参加していただけるよう取り組んでいきます。 また、地域課題の解決に向け、行政と地域が連携し、地域特性を生かした持続可能なまちづくりを行うための支援・協力を努めます。	A

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
42	12月14日	青笹	ごみの収集について、中心市街地は生ごみの収集が週2回だが、青笹は週1回である。なぜ、回数に違いがあるのか。週2回にしてもらうことは可能なのか。	環境課	現収集日程は、遠野町及び松崎町の一部でもえるごみの収集日が週2回である一方、その他地域では週1回としています。家庭ごみの野焼きが禁止されていなかった当時、住宅が密集し野焼きができなかったり、農地が無く生ごみを土壌還元できない地域を週2回の収集にした経緯があります。 その他地域における2回収集実施に当たっては、収集運搬にかかる追加費用を踏まえながら、家庭ごみの有料化と併せて検討していきます。	C
43	12月14日	青笹	行政区再編で合併している区とそのままの区とかがある。また、行政区の1区からの順番とかいびつな部分はないか。	地域づくり応援室	青笹町の行政区の再編について、旧行政区の順番と新しい行政区の附番に関して地域づくり団体、区長会等からご意見をいただき、その希望を反映した結果となっています。	A
44	12月14日	青笹	笛吹峠のトンネル化を要望してほしい。世界遺産につながる道なので、観光の活性化、地域のまとまりにもつながると思う。	政策担当	これまでになかったご提案であり、今後、近隣市町村の意向も踏まえながら、国・県への要望を行うべき事項であるか、検討していきます。	D
45	12月14日	青笹	駐在所の前の5差路は危険だと思う。子どもも通学路で利用するし、日当たりが悪く、冬場はカーブミラーも見えなくなり、特に危険なところである。10月に交通規制が変わり、朝7時半から8時半の間は車両進入禁止となったが、今度は通勤や通学で使っていた方が使えなくて不便だという話もある。	市民協働課	遠野市交通安全対策協議会では、令和3年6月29日、30日に交通安全施設点検を行いました。 「朝夕の交通量が多く、その動き方も多様で、児童の登下校が危険。特に下関方面から自転車で右折する場合、郵便局方面からの車両が見えにくい。時間帯一方通行の交通制限」という地域からの要望が提出されており、警察署はその要望に沿って朝7時半から8時半の間は車両進入禁止としたものです。	A
46	12月14日	青笹	後継者が残っている家庭が少なくなっている。働く場所がないから、若い世代で出ていく人も多くなっている。あと5年、10年で自分の地域でも空き家が多くなったりすると思う。原点は人なので、遠野に後継者が残るような政策を長い目でも良いからやってほしい。	農林課	現在、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の策定を進めており、今年度中に策定します。 仕事をしながら地域や農地を守ることができるような生活スタイルの提案を含め、新たな就農モデルを含めた営農類型の提案を行うよう準備を進めています。	B
47	12月14日	青笹	猟友会の人数は何人か。市役所に猟友会のような組織を作ってもいいのではないか。	農林課	遠野市でも、鳥獣被害対策の実践的活動を担う鳥獣被害対策実施隊を設置しており、現在104名の隊員が活動を行っています。 新たな組織の設立ではなく、今ある組織の活動の充実及び人材育成を引き続き進めていきます。	A
48	12月14日	青笹	以前は老人クラブの中に、文化部があり、昔のことなどをまとめて冊子にしたりしていた。今の老人クラブではやらなくなってしまった。老人クラブの活動が運動競技に特化してしまっているの、『遠野物語』のような文化財産がある遠野市だからこそ、文化活動を創造するような取組もして欲しい。	生涯学習スポーツ課	遠野市老人クラブ連合会に対しては、補助金による財政支援に加えて、スポーツ大会による健康促進及びシルバー文化祭などの文化活動事業へのサポートを行っています。 今後も、高齢者の自立した生活、生きがいのある生活の実現に向けて老人クラブ活動の支援を図っていきます。	B
49	12月14日	青笹	運動公園の遊具を増やしてほしい。花巻市の広域公園や盛岡市の動物公園のように、小学生も楽しめる遊具を増やしてほしい。	子ども政策課 市民協働課	市内には、都市緑地、街区公園、市民運動公園、農村公園、地域公園、都市公園、児童遊園及び広場など30カ所以上の公園があります。 公園や遊具の整備を求めるニーズは多いと認識しており、他の事業と連携し、必要性、緊急性を考慮しながら、検討していきます。	C

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
50	12月14日	青笹	遠野テレビ、新聞、広報等で示されていた市長のビジョンの中でどれを最初にやろうと考えているのか。	政策担当	令和4年3月市議会定例会に令和4年度予算を提案するとともに、主要な取組や施策について、「施政方針」としてお示しします。 遠野市の財政状況を踏まえれば、全てを一度に実現することは困難であり、優先順位をつけて一つずつ取り組んでいきます。	B
51	12月14日	青笹	空き家対策の資料で、活用に関する担当課、現状の取扱いに関する担当課と2つの課が書いてあった。そのようなものは市民からすれば、分かりづらい。地連協にも市民協働課以外の課から連絡来るときもある。窓口となる課を決め、ワンストップ化した方が良いと思う。	まちづくり推進課 観光交流課	空き家相談窓口については、空き家バンクに関しては観光交流課、それ以外についてはまちづくり推進課になっています。どちらにお問い合わせいただいても、連携して対応する体制としています。 ワンストップ化については、今後検討を進めます。	B
52	12月14日	青笹	市では、防災マップを整備しているが、昔に比べ堤防等も整備され、住んでいる住民が危険性を認識しづらくなっている部分もあると思う。その土地であった、昔の災害の話なども大切に、そのような話をまとめた資料なども作ってほしい。	防災危機管理課	近年は異常気象による大規模な災害が全国各地で発生しており、遠野市も例外ではありません。 令和3年4月に全戸配布した「遠野市土砂・浸水ハザードマップ」は、想定最大規模の降雨(千年に一度級)による洪水浸水想定区域を示しています。 市民の皆様へ「自らの命は自ら守る」という意識を持っていただき、ハザードマップ等を活用し、地域のリスクを把握した避難行動につながるよう、周知・啓発を図っています。 コロナ禍の影響等により、市民への周知が不十分であることから、今後、各地区の研修等を通して更なる周知・広報を図っていきます。	B
53	12月14日	青笹	後で対応した職員が誰か分からなくなる時があるので、役所の窓口で対応する職員には、名札を見えるように着用し、所属と名前を話してから対応してほしい。	総務課	お客様が安心して気持ちよくお話しできるよう、窓口や電話での対応の仕方について、職員への指導を徹底します。	A
54	12月16日	宮守	現在整地している場所は、宮守にとってかけがえのない観光資産であるめがね橋のそばである。建物を建てるのであれば、できるだけ景観にマッチしたものを願いたい。もし、建物を建てるのが決まっているのであれば、どのような物を建てるのか、地域に説明を願いたい。 若い人たちの声としては、住宅を建てるより、公園を作ってもらいたいという人もいるし、いろいろな話が聞こえてくる。	建設課	令和3年6月22日に宮守総合支所にて開催された「宮守中心市街地施設利活用検討会」において市営住宅の建物の意匠を含め全体計画を説明しており、景観にマッチした住宅の設計としています。今後、整備事業の概要について、地域の皆様に説明する機会を設けます。	B
55	12月16日	宮守	mm1前の造成している場所の土質を確認しているのか。あそこの土は、道路工事で掘った土を持ってきたものであり、雨が降ると流れている。そのような土地に住宅を建設して良いのか。	建設課	住宅の建築工事は、地盤調査の結果を基に、地盤に合った基礎形状で工事を行います。現在工事中の敷地造成で、全区画の宅盤が整備され次第、その調査を行う予定で進めています。	B
56	12月16日	宮守	住宅を整備することは決定事項なのか。以前は、宮守保育園をもってくるという話もあったはず。 住民が知らないうちに住宅整備を決めたということは、市が勝手に進めているということなのか。	建設課	令和3年6月22日に宮守総合支所にて開催された「宮守中心市街地施設利活用検討会」において、市営住宅の全体計画を説明しています。また、これまで市議会定例会において当該地の整備に関する質疑が行われており、議会だよりにも掲載されています。更に、令和2年度に事業予算の議決をもって事業を進めています。以上から一定の周知がなされているものと考えます。	A

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
57	12月16日	宮守	情報ビジネス校は廃校後に使われていない。 前市長の市長と語ろう会でも再三お願いしているが、何とか活用を考えてほしい。	宮守総合支所	様々な検討会で現存建物を活用した検討がなされたものの、提案された案の実現性、将来の維持管理費、県から提示された財産取得の方針などを総合的に庁内で検討した結果、断念したものです。 今後の利活用にあつては、地域からの施設利用の強い要望や企業からのアプローチがあった場合、県との橋渡しの役割を果たしていきます。	D
58	12月16日	宮守	銀河の森運動公園、テニスコートは花巻や盛岡からも来て使われている。ぜひ、しっかりと維持管理をしていただきたい。 一昨年前桜の木を植えたが、下草が伸びてきており、草刈りをしてほしいという話があったが、素人では難しいのでやらなかった。ぜひ市の方で対応してほしい。	宮守総合支所 市民協働課	銀河の森総合運動公園のテニスコートは、近年他市町村からの利用も増えており、引き続き適切な維持管理に努めていきます。 令和2年に市の植樹祭で植栽された場所については、令和4年・5年に下草刈りを実施する予定としていますが、成木になるまで一定の管理が必要であることから、地域と協議しながら、将来の管理方針について検討していくこととします。	B
59	12月16日	宮守	下郷地区も10年くらい前までは、食堂や飲み屋があったが無くなってしまった。 何とかこれを活性化できないかと考えており、市のバックアップをお願いしたい。	宮守総合支所	飲食店が地域の集会の場ともなってきた歴史背景は承知している一方で、宮守町の中心市街地で飲食店が減少していることはそのとおりです。 地域の活性化については、宮守銀河まちづくり協議会と連携したイベント、ソフト事業の実施及び商工会等と連携した新たな起業希望者への支援などに取り組んでいきます。	C
60	12月16日	宮守	情報ビジネス校のこことについて、校舎と体育館があるところ以外は、宮守村が寄付したものである。それなのに、県は市に対して売るといふことである。 過去に寄付したものを返してくれ、ということ考えていくべきではないか。	宮守総合支所	旧宮守村が昭和63年に県に寄付した土地は、寄付から20年を経過しているため、民法162条の規定に基づき所有権は県に移っており、土地の返却を求めることは難しい状況にあります。そのため、取得する場合には、県の財産処分の手法に従った手続きが必要であるとされています。	D
61	12月16日	宮守	みやもりホールは素晴らしいホールであるが、利用が少ない。これまでは結構利用されていたが、釜石に施設ができた後は利用が減っている。もっともっと利活用できるようにしなければ、非常にもったいないと思っている。	市民協働課	みやもりホールについては、毎年自主事業を実施するなど、施設の活用促進を図るための取組を行っています。 特に音楽関連のイベントに適した施設であることから、その部分を積極的にアピールしながら、施設の活用促進に努めていきます。	A
62	12月16日	宮守	免許返納した高齢者に、所得に応じて一定額を支給し、カードを提示すれば、バスや電車が割引になるといったサービスを実施している。そのようなものがあれば、と思う。	市民協働課	交通弱者対策としては、これまで免許返納者等の特定の方を対象としたものではなく、低料金バスの運行等による生活交通の維持を主眼として進めてきました。 今後、社会情勢の変化に対応した交通事業者との連携の在り方や、自動運転等の先進技術の利用などを組み合わせて、必要な支援策を検討していきます。	B
63	12月16日	宮守	交通対策について、上宮守の西風地区にバスを走らせてほしい。バスは路線変更の届出等をしなければならず、手続きがいろいろあるようだが、市営バスなので変更しやすいのではないかと柔軟に考えてほしいと思う。	市民協働課	上宮守地区では市営バス(上宮守線)を運行しており、運行ルートは市の交通関連施策の決定機関である「遠野市公共交通会議」で承認をいただいた後、運輸局に届出を行うことで決定しています。 地区内で一定数の輸送ニーズがある場合には、運行ルートの変更についても柔軟な対応が可能であるので、地区内の輸送ニーズについて確認・把握しながら検討します。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
64	12月16日	宮守	宮守ホール、素晴らしいピアノがあるのにあまり活用されずもったいない。みんな知らないのではないかな。	市民協働課	みやもりホールは舞台に音響反射板が設置されており、コンサート等音楽関連イベントに適した施設となっています。 毎年、自主事業を実施するなど、施設の魅力発信に努めており、今後も継続した情報発信に努めていきます。	B
65	12月16日	宮守	mm1に高齢者がいて、休憩スペースでお弁当を食べながらバスを待っていた。観光客が多い時期になると座る場所もなくなるので、mm1の中にバス待合所を確保することができないだろうか。	宮守総合支所	当該施設には、一定人数の休憩スペースは確保されていましたが、より使い勝手が良いよう、施設のテナント・関係者と検討し、配置の変更を行いました。	A
66	12月16日	宮守	デマンドバスだが、事前に申し込まなければ利用できない。同じルートを回るわけだから、手を上げれば止まって利用できるというように変えられないのか。	市民協働課	デマンド市営バスは原則予約制となっていますが、予約がない方でも手を上げる等を行うことで、乗車できるような配慮がされています。 しかし、予約がない場合は、バスが運行されないこととなりますので、確実に乗車いただくために、事前予約して乗車するようお願いいたします。	A
67	12月16日	宮守	まちづくり計画書の現状と課題だが、人口が減っていく予測となっており、人口減少は止められない。 花巻や北上から若い人を呼び込むことを、フリーターキングで考えてほしい。 ある人から、思いはあるが具体がないと言われ、アイデアを市役所や支所にも提出しているが、音沙汰がない。人が集まるまちづくりについて、具体的なことを考えてほしい。部課長さんに、何かやりなさいというぐらいの意気込みで臨んでほしい。	政策担当	遠野市の人口ビジョンにおいても、人口の減少が見込まれています。 この人口減少を少しでも緩やかに出来るよう、地方版総合戦略である「遠野スタイル創造・発展総合戦略」を策定し、様々な取組を有機的に連動させながら取組を進めています。 地域が元気であることが、人が住みやすい環境づくりへとつながっており、地域と一体となって魅力ある遠野市を構築できるよう、取り組んでいきます。	B
68	12月16日	宮守	手続き等について、遠野市のHPを開いていくと、PDFをダウンロードするようになっていくものが多い。Web上で申請できるようにしてほしい。	情報連携推進課	HP上で公開している申請書様式については、幅広い端末で閲覧できるようにPDFファイルで公開しています。ただし、PDFファイルは編集しにくい形式であり、ご意見を踏まえて、編集可能なWordファイルやExcelファイルの申請書様式も公開していきます。 なお、申請件数が多く市民の利便性の向上につながると考えられる子育て関係や介護関係などの行政手続きについては、マイナポータルを利用した手続きのオンライン化にも取り組んでいく予定としています。	B
69	12月16日	宮守	地域の集会に行くと、女性の参加が少ない。地域の役員さんにも、女性を増やしていただいた。 様々な委員を選んでいくときに、女性が一定の割合入るような形にしてほしい。 市役所の中でも、女性幹部職員を登用して、次の女性を育ててほしい。	生涯学習スポーツ課 総務課	市では「第4次と・お・のいきいき参画プラン」に基づき、男女共同参画社会を推進しています。 市の各種審議会などの女性委員の比率は、令和3年4月1日現在で29.7%となっており、令和7年度の目標値30.0%を達成できるよう取り組んでいきます。 また、遠野市特定事業主行動計画では、女性職員の積極的な登用を掲げており、男女問わず職員が能力を発揮しやすい職場づくりと人材育成に努めています。	A
70	12月16日	宮守	空き家バンクを区長にお願いして調査しているが、空き家が多くあることが分かると思う。空き家バンクに登録を促していく方法や、空き家バンクに登録するのも難しいケースもあるが、今後どのように考えているか。	まちづくり推進課 観光交流課	遠野市の空き家対策の基本的な方針としては、1予防、2利活用、3適正管理、4管理不全状態の解消です。 利活用の方策の一つとして空き家バンクへの登録を促進することが重要であり、平成30年度から空き家所有者への直接的な情報提供や相談会を開催しています。 また、様々な理由で利活用できない場合、適正管理をするよう啓発するとともに、危険な空き家等の解体補助制度を設け、除却を促進しています。	A

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
71	12月16日	宮守	今年の空き家調査は、とりあえず出してくれということで、少し残念に思った。区長たちはABCのどのランクなのか分かるので、そういったことまで突っ込んで調査しても良かったのではないかな。	まちづくり推進課	地域において空き家のランク付け等詳細な調査をしていただけることは、大変ありがたいことであり、そういった情報を調査票に追加していただき、情報の量・質を高めていきたいと考えます。 一方、空き家情報は個人情報が多く含まれることから、詳細調査をするには取扱い方針等を整理したうえで対応する必要があります。 市では、地域運営組織と空き家の情報共有をする体制を築くため、今後も継続的に調査をお願いしたいと考えています。そのため、地域差や作業内容を考慮し、地域の作業負担をなるべく軽減していきたいと考えています。	B
72	12月16日	宮守	前の市長は、地域のイベントに、市の職員が積極的に参加するように言っていたが、実際には30、40代の地元にいる職員が協力してくれない。職員に徹底してほしい。	総務課	職員が地域活動に積極的に参加できるよう、事務事業の見直しによる業務の効率化や働き方改革を推進します。 また、地域貢献制度や地域担当職員制度を活用した地域づくりへの意識づけを図っており、今後も地域の一員として役割を担うよう取組を進めていきます。	B
73	12月16日	宮守	遠野市と宮守村が合併した時、宮守村が昔から取り組んできた行事は引き続きやっていくということになってははず。最近、一括交付金でやってほしいという話が出ていると聞いている。合併時の協定を市長自身で確認してほしい。	総務課 政策担当	旧宮守村時代から受け継がれてきている行事等については、できるだけ引き継ぎながらも一括交付金を活用し、更なる活性化等を図りたいと考えています。	B
74	12月16日	宮守	空き家の調査をしているが、3年ほど前の会議で出たときに、すぐ貸せる状態の空き家が2軒程度しかないということだったと記憶している。 めがね橋前の住宅は、子育て住宅ということを言っている人もいたが、もう少し空き家というものを活用できるのではないかな。	まちづくり推進課 観光交流課	市内にある空き家は、その多くが適正に管理されていますが、利活用されていない状況は、所有者、地域、そして市全体にとって大きな課題であると認識しています。 市としては、できる限り空き家を利活用していけるよう、空き家所有者への啓発を継続していくとともに、不動産業者を通じた中古物件としての売買や賃貸、空き家バンクの利用促進、並びに空き家バンク以外の利活用方策について検討を進めます。	B
75	12月16日	宮守	空き家については、まだ人が住んでいるうちから話を進める必要がある。子どもたちは、空き家になることが分かれば、手を掛けて修繕したりしなくなる。空き家になる前に、将来を見据えて手をかけるようなことはできないだろうか。	まちづくり推進課 観光交流課	遠野市の空き家対策の基本的な方針としては、1予防、2利活用、3適正管理、4管理不全状態の解消であり、まず第一に「予防」が大切です。同時に、家族状況等により空き家化は避けられないという側面もあるため、家族で事前に空き家になったらどうするか話し合っておくなどの「備え」も重要です。 土地を含めた資産について誰が引継ぐのか、もしくは処分するのか、またそれをいつ誰が判断するのか等「空き家化に対する備え」の重要性について、冊子、チラシ、広報、セミナー等で周知、啓発していきます。	B
76	12月17日	達曽部	本の森ができたので、地区の人達みんなで行けないか話した。バスで行けないか検討したが、用途が幼稚園、小学校等に細かく分かれていて、その用途の枠にはまらなと使えなかった。地区でお年寄りや子ども達が一緒に行くことでお互いを知ることが大事だと思う。 何か機会がなければ本の森に行けないと思う。何回か、本の森まで行くバスが出ればと思う。	こども本の森 運営企画室	こども本の森遠野来館者は、オープンから4カ月で今年度の目標値である1万人を達成しました。来館者の内訳は市内37%、県内53%、県外10%であり、1日平均約90名です。 現在、多くの市民に来館していただく取組として、児童館及び児童クラブの児童を対象にバスを運行し、本に触れ合う機会を提供しています。 今後更に児童だけではなく、高齢者と子どもたちのふれあいの居場所になるよう検討を進めます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
77	12月17日	達曽部	<p>小さな拠点の関連で、集会所の改修をお願いしたい。達曽部には今、行政区が7つあるが、再編で3つになる。しかし、自治会は7つ残る。7区の集会所は民間の集会所になる。行政の目が行き届きにくくなる。自治会の役割は大きくなる。集会所は、みんなが集まりやすいところにならなければいけない。</p> <p>自分たちの集会所の水は衛生的な面で使えない。地域の民生委員が中心になって地区で料理を作ろうとなったとき、10キロ先の所で行った。冬は湯沸かし器が使えない。これからも行政から切り離され、使われなくなると思う。</p> <p>市が、全部の行政区で民間の集会所になったときどうなるかを調べる必要があると思う。300万円事業ではなく、一斉にスタートできるように整備してほしい。</p> <p>民間の施設だから切り捨てないでほしい。</p>	地域づくり応援室	<p>旧宮守村の地域集会所については全て市の施設であり、令和2年度に策定した「遠野市公共施設等総合管理計画個別計画（後期）」では、譲渡対象と位置付けられ、「地元自治会に譲渡若しくは解体を検討」を進める施設としています。</p> <p>ただし、その時期については一律に進める予定はなく、地域において移譲時期を考慮しながら、みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金を活用して、計画的、段階的な修繕を行い、現在の施設を可能な限り活用していただきたいと考えています。</p> <p>また、行政区再編に伴い、地域における中心的な役割を担う施設に集中的に資金を集めるなど、集約化についても各地区で検討していただきたいと考えています。</p>	D
78	12月17日	達曽部	<p>高齢者には、除雪の作業ができない方もいる。診療所跡地の市営住宅が空いていて、入りたいという人がいるので、11月に市役所に相談しに行った。1月いっぱいまで募集し、2月に決定し、3月に入居できるという事だったが、原則住居がある方は利用できないということで、冬期間だけの利用は難しいとのことだった。</p> <p>老人ホームでも冬期間だけ利用する場合もあるのだから、そういう別枠で利用できないかと思う。</p>	建設課	<p>市営住宅は、「住宅に困窮する低所得者などに対して、低廉な家賃にて供給するために整備された住宅」であり、入居要件を満たす方に賃貸する住宅です。民間住宅や老人ホームなどの施設とは利用条件の異なる住宅であり、ご提言のような利用方法は、公営住宅法及び遠野市営住宅条例からも難しいと考えます。</p> <p>一方、市条例第44条において「社会福祉法人等」に対し使用を許可することができる規定があることから、社会福祉協議会が事業主体となって、市営住宅を期間限定で利用することは可能と考えます。</p>	C
79	12月17日	達曽部	<p>66年も地域に住んでいるが、人は少なくなり、農業も力がなくなってきた。変わらないのは川の水量等だけ。一キロ弱のとおりに水車小屋が3～4カ所あった。市長が以前、小規模な水力発電の構想があると言っていたので、今日その話が聞けて安心した。</p> <p>達曽部の上流は水量が多く、水流も早い。湖岸工事もしていないので、カーブの所がえぐれて、木も大きくなって、雨や地震の災害で危険になる可能性もある。</p> <p>貯まった土砂などは天然のダムなどになり、二次災害を起こすかもしれない。河川も整備していただければと思う。</p>	建設課	<p>昨今の豪雨により河川の自然護岸の決壊は多く発生していると思われます。ご意見のとおり二次災害発生とならないようパトロールし、危険箇所の解消に努めます。達曽部川の事を含む意見と思われることから、この内容を河川管理者である遠野土木センターへ伝えました。</p>	D
80	12月17日	達曽部	<p>遠野の人口が減っているが、人口を増やす方策について、市長の考え方を教えてほしい。</p> <p>また、今、遠野町になったらどうなるか。紫波町はずっと町のまま。人口3万4千人くらいでも市にならない。</p> <p>企業を誘致しても、人が来ない。自衛隊を誘致すれば良いのでは。駐屯地を造れば人も来るし、人口も増えると思う。</p>	政策担当	<p>遠野市の人口ビジョンにおいても、人口の減少が見込まれています。</p> <p>この人口減少を少しでも緩やかに出来るよう、地方版総合戦略である「遠野スタイル創造・発展総合戦略」を策定し、様々な取組を有機的に連動させながら取組を進めています。</p> <p>地域が元気であることが、人が住みやすい環境づくりへとつながっており、地域と一体となって魅力ある遠野市を構築できるよう、取り組んでいきます。</p>	B
81	12月17日	達曽部	<p>議会で議論できればと思うが3カ月に一回しかないなので、ここで話をさせてほしい。</p> <p>先に発言のあったことが重要である。中斎地区の私の家より上流、ワサビ田の所も含め、全戸が水道未普及である。水洗トイレもない。大雨の時は濁る。前市長にも話したが、前向きに考えてもらえなかった。10億円かかるという事だった。新市長は市民の暮らしと命を守ると言っている。前向きに水道の調査の上、何かしら予算を確保して市民の命を守ってほしい。</p>	上下水道課	<p>ご提言の地区については、以前から、自家水道井戸の濁水傾向、水質の悪化、配水管の老朽化等に関する相談を受けています。</p> <p>水道事業で整備しようとする場合、既存の中斎地区から送水し配水池等を建設する方法と、湧水、白石地区に水源を求め新たな浄水施設を建設する方法が考えられます。</p> <p>しかしながら、いずれの方法も多大な事業費を要するため、当地区においては市水道施設の整備は困難な状況であることから、新しい技術の導入によるコスト縮減や、遠野市自家水道施設整備事業の活用等、整備方法を検討していきます。</p>	D

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
82	12月17日	達曽部	うちでは、市で推進している滅菌機などを入れて飲める水になった。環境課に対応してもらった。白石湧水の公民館にもできると思う。市役所に申請すればすぐできると思う。	環境課	自家水施設整備に係る補助金は、水道施設が未整備である地域で、今後も当該施設の整備が困難である区域における一般家庭用の自家水施設を対象としており、公民館は補助の対象外になります。 したがって、この場合は公民館を管理する自治会等において費用を負担し、整備を検討いただくこととなります。	D
83	12月17日	達曽部	役所と話すと費用対効果という言葉が出てくる。大きな修理などになる前に、少しずつ直した方がトータルの費用は掛からないと思う。 合併時宮守村には基金が8000万円くらい残っていて、それを各公民館に平等に配分した。うちの所はそれでシャワートイレにした。もちろん足りないものは、地域住民が負担した。やるなら腹を決めてやるしかない。 金ヶ崎町でもどうして人が来ないのかと悩んで、初めに思いついたのは、水洗トイレにしないからじゃないかという事だったそうだ。その辺の考え方を変えてほしい。	地域づくり応援室	集会施設の修繕を行う方法については、ご意見のとおりです。 他地区では簡易水洗トイレへの移行について、みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金を活用し、地元負担しながら整備を行ったりしています。旧小学校区単位で地域づくり団体が設立されており、補助金の有効活用について、地域内で協議、検討いただき、集会施設の修繕に対応願います。	A
84	12月17日	達曽部	計画づくりの際、小さな拠点の地域づくりは市の主導でこうなった。今日配布した資料は市が作っていない。地区センターの職員は地域の職員で、市の職員ではない。指定管理者の職員と市の職員の線引きをしっかりとしてほしい。今度、地域のまちづくり計画を作る必要がある。市の職員が地域応援担当職員になっている。その職員にこの資料を作らせたり、こういう現状だと説明させるべき。地域応援担当職員に会議に出席をお願いする際には、文書で依頼しろという事だった。お互いが助かるような仕組みにしてほしい。	地域づくり応援室	前回作成した地域づくり計画については、地区センター職員(市職員)がその策定作業の支援を行い、最終的には各地連協が策定したものです。 今後の計画策定にあたっては、地連協から各地域づくり団体へその役割が移行した違いはありますが、引き続き市も策定作業の支援を行っていきます。 ご提言にあるとおり、地域担当職員が地域づくり計画の策定又は見直し作業に関わっている地区もあり、市の計画等との整合性を図るうえでも、地域担当職員の支援は有効と考えています。 なお、地域担当職員は、それぞれの所属部署における業務もあることから、文書により出席を依頼していただくこととしていますので、ご理解願います。	A
85	12月17日	達曽部	河川のことで、琴畑川の下流や荒川の下流などで大規模な工事が入っていて、遠野に似つかわしくない風景になっていると思う。県の工事だと思うが、景観などに配慮した工事をしてくれと言っていいと思う。	建設課	全国的に、河川災害復旧や河川改修の際は、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・育成・繁殖環境及び多様な河川景観を保全、創出するために河川管理を行うこととし、多自然川づくりを推進しています。ご提言の内容については遠野土木センターへ伝えました。	B
86	12月17日	達曽部	シカ、イノシシ、サルなどの対策のために花巻市民と一緒に3回くらい草刈りしている。いなくなった人の分も草刈りしている。引っ越してきた人に草刈り機を市から貸与するのも必要だと思う。	農林課	草刈り機の購入助成、貸与の制度は現状ありませんが、地域住民による共同活動として支援することができないか検討していきます。	C
87	12月18日	鱒沢	鱒沢地区センターの早期整備をお願いする。 建設場所は、大雨の際に水が出る場所なので、水が上がらないように建設してほしい。	市民協働課	鱒沢地区センターの整備については、早期の運用開始に向けた検討を進めているところです。 建設場所については、地域からの意見を踏まえ、可能な限り高さのある所に建設することで検討を進めています。	A
88	12月18日	鱒沢	外山のメガソーラーのことについて、11月に市に要望書を提出したが、今後、外山川のことについてはどうなっていくのか、可能な範囲で教えてほしい。	政策担当	市は、外山地区の太陽光発電事業地から発生した濁水に関する問題に対し、専門家による第三者委員会を設置し、当該問題の解決に向け、必要な指導等を講じてきました。結果、外山川の水質(濁度)は、改善傾向にあり、周辺河川と比較しても水質に大きな差はないほどに状況は回復してきています。 市は、引き続き監視を行いつつ、問題解決に向けた必要な対応を講じます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
89	12月18日	鱒沢	附馬牛町に重湍溪というすばらしいところがあるが、全戸配布された遠野ドライブマップに乗っていない。奥入瀬溪流にも負けない場所であり、今後、活用してはどうか。	観光交流課	「歳時記カレンダー」は、(一社)遠野市観光協会が作成したのですが、行政としての過度な干渉は避けつつも、(一社)観光協会の担当者だけではなく、組織的にチェック機能が働くよう、指導・助言をしていきます。 なお、今回の意見については、(一社)観光協会へ申し伝えました。	A
90	12月18日	鱒沢	地区センターができることで、老人憩いの家を取り壊すということは聞いているが、隣の就業改善センターはどうするのか。	市民協働課	鱒沢就業改善センターは、将来的には解体する予定です。当面は、防災物品等の備蓄倉庫等として活用することを検討しています。	A
91	12月18日	鱒沢	米価下落により、今年も大変だし、来年もどうするかという話がある。牧草への転作田への助成金が、3万円から1万円になるという話になっている。農協とタイアップするなどした支援を考えていないのか。	農林課	米価下落に対しては、令和3年産米に引き続き、水稻種子購入代金への支援を継続するほか、飼料用米をはじめとする作付転換により農家所得の維持・向上を図ります。交付金の見直しに関しては、唐突な見直し案の提示であり、本市の農業振興に与える影響が大きいことから、関係機関・団体とも協議を進めながら支援策を検討しています。	B
92	12月18日	鱒沢	産後ケアという言葉を目にしている。いろいろな会議に出るとそういった取組のことを聞くが、一般には知られていない。機会を捉えて情報発信していただきたい。	母子安心課	国は平成27年度から産後ケアに対する取組を始め、令和3年度には産後ケア事業を母子保健法上に位置付け努力義務としました。 市では、平成19年12月の助産院開院当初から、家庭訪問や助産院において母子に対する心身のケアや育児サポート等の産後ケアを行ってきました。また、令和4年度からは市内のホテルの宿泊施設を活用した1日単位のデイサービス事業を行う予定です。 産後ケアは、前向きに子育てしていくために女性が受けるべきケアであり、その利用には周囲の理解やサポートが重要であることから、今後、広報遠野や遠野テレビ、各種会議や集まりの場等を活用し、広く市民に周知を図っていきます。	B
93	12月18日	鱒沢	地域でみんなで支えあうということも、これからは必要になってくると思う。認知症の方が地域で生活していくことについて、外出しているのを見守るくらいはできるが、それ以外の部分で、何ができるのか考えていきたい。	健康長寿課	2025年には全国の65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると推測されており、誰もがなりうる病気であることから、認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるまちづくりが大切です。 認知症である本人と介護者(家族)の多くは、困りごとを抱えながら生活をしており、医療や介護サービス導入による専門職による支援のほか、認知症に対する正しい理解のもと、地域の皆さんの見守りやサポートなど、支え合いづくりが必要となりますので「認知症にやさしいまちづくり」の取組にご協力願います。	B
94	12月18日	鱒沢	地区センターに関する意見交換で、調理室を欲しいという話をした。使う機会は少ないかもしれないが、東日本大震災の時には、支援に来てくださった方への炊き出しなどをした。小さくてもいいので、みんなでひつまみを作ったりできる場所が欲しい。	市民協働課	各地区で高齢者サロン事業が展開されています。今後はそういった事業のため調理室のニーズが増えることも予想されるので、地域の要望を踏まえた検討を進めます。	B
95	12月18日	鱒沢	以前に上郷地区センターに行ったことがあるが、お盆に帰省した家族が、地区センターを待ち合わせ場所にしていた。そういう開かれた場所にしていきたいと思う。	市民協働課	整備計画の構想では、住民が気軽に利用できる屋外自由広場の設置も考えています。今後も、地域住民の集いの場としての施設づくりに努めていきます。	B
96	12月18日	鱒沢	市長になって1年目であるが、毎年こういう形で意見を聞くのではなく、自治会長などを通じて市民の声を吸い上げる仕組みを作っていくべきではないか。	政策担当	今年度は、3月に「テーマ別井戸端会議」を開催する予定です。 市民の皆様の意見をうかがう方法については、今回のように直接顔を合わせて実施するほか、SNSの活用や、WEB方式での開催など、様々な方法を検討していきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
97	12月18日	鱒沢	移住してきた者だが、遠野の人口減を心配している。移住してきた人への援助などをもっと充実させることができないか。冬に雪があることを、マイナスではなくプラスにすることはできないかと思っている。	観光交流課	移住者が遠野で暮らし続けたいと思えるよう、更には地域の新たな担い手として活躍できるように、移住後のフォローが重要だと認識しています。移住定住相談窓口である「で・くらす遠野」では、移住者交流会等の開催による困りごとなどの情報交換の場の提供や、移住者と地域住民のつながりのきっかけづくりとして、レクリエーションや市内ツアー等の開催も計画しています。また、冬の厳しい寒さや雪をテーマとした移住定住施策について、関係団体等と検討していきます。	B
98	12月18日	鱒沢	遠野の自転車ロードについて、ここに案内板があるといいとか、水を飲んで休憩できる場所があるといいなど、もっと活性化する方法があるのではと思う。その他に、猿ヶ石川の川下りなどもいいのではないかと。	観光交流課	自転車ロードの充実・管理を行っている県南広域振興局遠野土木センターに、ご提言の内容を申し伝えます。猿ヶ石川の川下りについては、過去に武蔵野市との児童交流で行われた経緯があります。現在は、市内地区PTAなどの活動で、大人や経験者同伴で行われています。しかし、観光客を対象とした「体験メニュー化」にはインストラクター等の確保や安全対策、採算性の検証を行うことが必要と考えます。	C
99	12月18日	鱒沢	遠野は昔話が有名なので、それをつなげていってはどうか。遠野昔話ランドのようなものなど、来た人に楽しかったと言ってもらえるようなものを考えてはどうか。	文化課	遠野の昔話をテーマとした施設として、平成25年度に「とおの物語の館」がオープンしています。家族で楽しめるように、昔話のアイテムに触れるとキャラクターの影が動いたり、来館者が昔話の主人公を選んで新しい昔話を創作することができる参加型の展示を多く取り入れています。また遠野市立博物館には遠野物語シアターがあり大画面で『遠野物語』や昔話をテーマとした作品を毎日上映しています。今後も遠野の財産である昔話や『遠野物語』を活用した事業について進めていくとともに、HPやSNSを活用して市内外に積極的にPRしていきます。	A
100	12月18日	鱒沢	こども本の森は非常に素晴らし場所だったが、利用者が少なかった。平日は子どもたちは学校や保育園に行っているの、土日くらいしか利用しない。本も子供向けのモノばかりだが、平日にお年寄りがバスで行って利用することを考えてはどうか。	こども本の森運営企画室	こども本の森遠野来館者は、オープンから4カ月で今年度の目標値である1万人を達成しました。来館者の内訳は市内37%、県内53%、県外10%であり、1日平均約90名です。現在、多くの市民に来館していただく取組として、児童館及び児童クラブの児童を対象にバスを運行し、本に触れ合う機会を提供しています。今後更に児童だけでなく、高齢者と子どもたちのふれあいの居場所になるよう検討を進めます。	B
101	12月18日	鱒沢	学校関係の予算が、少ないのではないかと。トイレもウォシュレットのトイレなどを整備していくべきではないか。	管財担当	トイレを含む学校施設の整備については、遠野市学校施設長寿命化計画に基づき、整備を進めていくこととしています。限られた予算の中で、子どもたちのために現場の声を可能な限り反映させるとともに、整備後のランニングコスト等を十分に考慮しながら整備を進めていきます。	B
102	12月18日	鱒沢	新聞に牛のレンタルというのを有効活用しているとの記事があった。他市の人に、遠野のジンギスカンはおいしいよね、でもなぜ遠野で羊を飼わないのと聞かれることがある。例えば、馬の里の脇で羊を飼ったらどうか。	畜産園芸課	羊、山羊などが罹患する病気の一部は、牛や豚及び馬に感染して畜産業に大きな影響を与えることがあります。そのため、家畜伝染病予防法により監視伝染病に指定され、発生予防及びまん延防止対策が取られているため、畜種ごとに離れた場所での飼養が求められます。	D
103	12月18日	鱒沢	今日は土曜日なので、地域の市職員に休んでもらいたいと思うが、参加してもらって、地域の状況を聞いてもらうこともいいのではないかと。	総務課	職員が地域活動に積極的に参加できるように、事務事業の見直しによる業務の効率化や働き方改革を推進します。また、地域貢献制度や地域担当職員制度を活用した地域づくりへの意識づけを図っており、今後も地域の一員として役割を担うよう取組を進めていきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
104	12月18日	鱒沢	鱒沢小学校の児童数が20人を切っている。 野球チームが作れないなど、やはり活気がなくなってきている。	学校教育課	市内の出生数は減少傾向にあり、児童生徒数も同様の傾向にあります。児童数の減少に伴う小学校の複式学級の対応など、従来どおりの教育活動等を継続することは難しい状況にあると認識しています。 小学校の統合については、児童数の推移等を勘案しながらも、保護者を始め地域の皆様の想いや考えに寄り添い、共に考えていきます。	C
105	12月18日	鱒沢	地域で子育てをという話があるが、若い方の話を聞きたい。こういう集まりにも参加してくれない。 若い方に参加を呼び掛けても、仕事が忙しかったり、家のことをしてもらわなければならないことだったりする。どこの地区もそういう状況なのか。	生涯学習スポーツ課	女性の役割は、地域でも重要性を増していることと捉えていることから、「第4次と・お・のいきいき参画プラン」に基づき、男女共同参画社会を推進しています。 市の各種審議会などの女性委員の比率は、令和3年4月1日現在で29.7%となっており、令和7年度の目標値30.0%を目指して取り組んでいきます。	A
106	12月18日	鱒沢	ヤマユリの花が大好きであるが、緑峰高校や岩手大学農学部と連携して、いろいろなところに植えるなど、安らぎを与えるようなことをしてはどうか。	畜産園芸課	ヤマユリは、播種から開花まで5年はかかるといわれており、安らぎの場所を作るためには生育管理が必要となります。 ヤマユリによる景観形成を行うためには、自治会などの地域団体による生育管理体制の構築も含めて、地域での導入検討をお願いします。	D
107	12月18日	鱒沢	地区センター整備について、1月に説明会があるとのことだが、一方的な説明ではなく、地域の意見を聞いてほしい。前に提言書を出してからかなり時間も経過している。	市民協働課	令和4年1月中旬に鱒沢地区説明会を開催しており、地域の意見を反映させた整備計画として取りまとめを行います。	B
108	12月18日	鱒沢	遠野高校120年となるが、魅力アップのため、三大スポーツのサッカー、駅伝、硬式野球のPRを強化して、遠野に残って活躍しようというのを中学生に発信してはどうか。	学校教育課	令和4年度から市内高校においても学校運営協議会制度がスタートします。高校の運営に関し、より地域の意見が反映される環境が整うことから、中学生への魅力発信についても高校と協議し進めていきます。	B
109	12月18日	鱒沢	遠野の課題は米だと思うので、米を原材料にパンや蕎麦やラーメンなどを作ってみてはどうか。	六次産業室	主食米の需要減少が続く中、米の新たな用途に使用する米粉の活用は消費拡大策として重要であると考えます。 パンや麺での活用について、生産者、飲食事業者、加工事業者、産直関係者と情報交換を行ったり、イベントの機会をとらえて情報提供を行っていきます。	B
110	12月18日	鱒沢	牧草の助成額が下がることについて、農協の組合長も要望をしていくとのことであった。市でも農協と連携して対応してはほしい。	農林課	交付金の見直しによる影響は本市に限ったことでは無いことから、県内市町村やJA等とも連携しながら、要望や対応策の検討を進めています。	B
111	12月19日	上郷	上郷保育園前の羽場橋は昭和43年に完成以来、老朽化が進んでおり、欄干が腐って折れそうになっている。	建設課	羽場橋は平成29年度に点検を行っており、区分Ⅲ(早期措置段階)と判断しています。現状確認の上、令和4年度中に高欄の重損傷箇所を修繕する予定です。	B
112	12月19日	上郷	旧上郷中学校の植樹された木々が大木になっている。高い所に手が付けられない。通路の桜の木が枯れ、折れて危険な状態になっているので、きちんと管理してほしい。	管財担当	旧中学校施設は市内に3施設あり、他施設も同様に優先順位を設定し剪定等について検討していきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
113	12月19日	上郷	空き家調査をした。6区内で31件ある。数件は廃屋状態になっている。対応できない世帯も見られる。隣近所で庭も整備されず、木が生い茂っている空き家もある。シカや蛇がでる。環境課に行ったら、文書で持ち主に伝えますと言ったが、それから進んでいない。今後の調査で廃屋の採択などを教えてもらえれば。	まちづくり推進課	市内には多くの空き家があり、廃屋と言われる状態の空き家は、空き家法上「特定空家等」に該当しますが、市で所有者特定後、立ち入り調査の上、庁内組織による会議で認定する必要があります。 「特定空家等」となった場合には、所有者等に対し自らが改善措置するよう文書で通知しています。 なお、「特定空家等」の除却を促進するため、令和2年度から解体の補助制度(最大50万円)を創設しました。利用したい場合で、「特定空家等」に認定されていない場合は相談願います。	B
114	12月19日	上郷	上郷地区センターの奥の畳の部屋に行く廊下がはがれているので、早く直してほしい。そういう所が多い。既存施設を先に直す必要がある。雨漏りをしている所などもある。	市民協働課	上郷地区センターの改修工事については、令和4年度に実施設計を行い、令和5年度に工事を施工する予定となっています。要望の全てに対処できる財政状況ではないため、緊急性などを判断しながら、優先度の高い箇所の改修を行います。	B
115	12月19日	上郷	遠野市の予算の7割が国補助等で、自治体独自の歳入は3割くらい。人口約25,000人のうち、10,437人が高齢者である。税収が減る中で、財政調整基金もあるが、借金を抱えながらどの市町村もやりくりしている。税収が少ない中、事業等は市民の生命に関わるものをから優先的にやってほしい。	財政担当	予算の約7割を国等の依存財源に頼っている本市にとって、人口減少や経済情勢の変化、更には、気候変動や感染症対策等に対し、どのようにやりくりをしながら対応していくかが課題です。 市民の生命に関わるものが優先度が高いのはそのとおりです。予算配分にあっては、本市の標準財政規模、歳入に見合った歳出を基本にしつつ、世代間のバランス、産業のバランス、地域のバランスなども考慮していきます。 そのためにも市民生活の課題をしっかりと把握したうえで、事業の優先度等を決定していきたいと考えています。	B
116	12月19日	上郷	広報を読んでいると、生まれた子どもより、亡くなった人の方が多くて、どんどん人口が減っていると感じる。小学校も統合せざるを得ないと思う。保育園や中学校も統合しなければいけない。人口減少で色々な問題が出てくる。	学校教育課 子ども政策課	市内保育所の再編については、社会情勢や人口推移など様々な要素を分析し、小学校における取組と足並みをそろえて考えていきます。 小学校の統合については、児童数の推移等を勘案しながらも、保護者を始め地域の皆様の想いや考えに寄り添い、共に考えていきます。 平成24年度の中学校再編から約10年が経過しました。生徒数は減少傾向にあるものの、現状において教育活動の存続が困難な状況とはなっていません。今後、人口動態や地域の状況、生徒数の将来推移等を注視しつつ、今後の中学校のあり方について検討していくことが必要と考えています。	C
117	12月19日	上郷	遠野市は人口対策が大事だと思う。高校卒業後に働ける企業が市内に欲しい。市長は、ケーブルテレビのインタビューで誘致企業のことを話していたが、ぜひ実現してほしい。	商工労働課	東北横断自動車道の全線開通など遠野市を取り巻くインフラも整いつつあります。遠野東工業団地の完成・売却により、今後、市内企業の設備投資も進んでいきます。市としては、半導体関連を含む中小企業の設備投資を促進していきます。	A
118	12月19日	上郷	シカ、熊の被害が多くなってきている。被害額が1億円を超えている。特にシカ。遠野市全体で、今年の駆除で2770頭、上郷で450頭。上郷は自分たちで穴を掘って処理している。しかし、それも限界が来ている。この話題も議会で度々取り上げられているが、処理の検討をしてほしい。	農林課	シカの捕獲数の増加に伴い、個体処理に課題があることは認識しています。市では、地中埋却のほか、60cm四方以下に個体を解体することで、無料で遠野中継センターへの持ち込みを可能としています。 関係機関と協議し、より良い個体の処理について検討していきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
119	12月19日	上郷	岩手の賃金は全国でワースト2の賃金の安さだが、その中でも遠野はさらに悪い。若い人がいない限り地域が活発化しない。同じ仕事をして、遠野市の方が低いなら、遠野市から出ていきたいと思うのは当たり前。生活費が高くて市外に出てしまう。このまま遠野の賃金が低いままでは、若い人たちがいなくなってしまう。市外から従業員を呼び込むなら宿泊施設を作って、市内でお金が回る方法を考えてほしい。	商工労働課	令和4年度の事業において、雇用状況について調査を実施する予定であり、その結果に応じて、必要な対策を実施します。 一方、働く側の能力開発も今後必要と考えます。そのための従業員のリカレント教育(学び直し)の機会創設に向けて検討していきます。	B
120	12月19日	上郷	低賃金でやろうという経営方針は、ダメだと思っている。労働者の質も上げる必要がある。マニュアル通りにやるのではなく、アイデアを出せる人材が必要だと思う。質を上げる教育をしながら賃金を上げることで、所得が増え、消費も増える。全体の所得を上げる方法を考えなければいけない。仕事をする人だけでなく、若者をいっぱい育てる方法を考えてほしい。	商工労働課		B
121	12月19日	上郷	人口はすぐに増えることはないと思う。まずは交流人口から徐々に初めて、アピールしなければいけないが、「日本のふるさと遠野」は自己満足で終わってしまっていて、もっと遠野内外に良さを伝える必要がある。交流人口からどんどん定住者の増加につなげてほしい。	観光交流課	平成18年10月に「交流人口の拡大から定住へ」というコンセプトのもと、官民一体の定住促進組織「で・くらす遠野」を発足させ、「永遠の日本のふるさと遠野」の魅力を活かした交流事業の創出により、遠野の魅力を全国に情報発信してきました。 令和3年3月に策定した「定住促進行動計画」に基づき、令和3年度を「で・くらす遠野第2ステージ」スタートの年と位置づけて、ターゲットを明確化し、当市の魅力や支援情報をホームページやSNSなどを通じて発信しています。 また、受入れ環境の整備と、地域との融合や定住後のフォローも含めて、地域一体となった取組を進めています。	B
122	12月19日	上郷	今は旧中学校の利活用が停滞しているが、利活用も検討してほしい。	管財担当	現在、旧上郷中学校は、地域で活用している他に、いくつかの団体が継続的に利用しています。今後の利活用にあたっては、地域の皆様からのご意見・ご提言を踏まえて、関係団体と情報共有を図りながら検討を進めていきます。	B
123	12月19日	上郷	小さな拠点は、自分たちで稼ぐというのがキーワードだと思っている。しかし、各地区がそこまで行ってない。いかに稼ぐかというところについて、対策してほしい。	地域づくり応援室	継続的に地域課題を解決する事業を行うためには、収入を得る事業展開を進める必要があると考えます。 他地域の成功事例の紹介や各種情報の提供など、必要な支援を行っていきたくと考えています。	B
124	12月19日	上郷	この間の市議会で空き家住宅が問題に出ている。都会のある程度の年齢の方たちが遠野でゆっくりと過ごせるように、賃貸で遠野に過ごし、高齢で弱くなったら戻るといった20年、30年などで区切った暮らしでも良いと思う。	観光交流課	ここ数年の移住相談の中で「二地域居住」の意向を持つ相談者も増加してきているものの、相談者のニーズにマッチした空き家を即見つけることは難しい状況にあります。 多様化する移住希望者のニーズに対応できるよう、関係機関と連携し空き家の情報収集を進め、今後も空き家バンク・空き家リフォーム助成のPR及び機能強化に努めていきます。	B
125	12月19日	上郷	多面的などは事務局の担い手の問題もでたりするが、私の地域は役所の方達にやってもらっている。引っ張ってってもらいたい。人数が減り、仕事も増えるが、地区のこともやる場合もある。地域の活動をやっているところを認めてやり、会計をやっていれば、昼休み犠牲にして銀行に行ったりすることもあると思う。そのような時に動きやすい体制を作ってほしい。結局は役所や農協などの職員などが地域を引っ張っている。役所でサポートしてほしい。	総務課	職員が地域活動に積極的に参加できるよう、事務事業の見直しによる業務の効率化や働き方改革を推進します。 また、地域貢献制度や地域担当職員制度を活用した地域づくりへの意識づけを図っており、今後も地域の一員として役割を担うよう取組を進めていきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
126	12月19日	上郷	市民活動サポートセンターは立ち上がっているのか。自己資金を作る必要は地域にも関わってくる話。役所の補助がなければなかなかできない。遠野市も財政的にすぐ出せる状況ではない。何かの手段を講じて資金を集めなければいけない。クラウドファンディングをするノウハウが地域にはない。そのセンターに相談して支援してもらえば、なお良い。	地域づくり応援室	現状は地域づくり応援室が中心となって、様々な情報提供等支援をしていますが、将来的には新たなサポート体制を作ることも必要であると思っています。市外から活動資金を集めるなど、新たな方法に挑戦していくことも必要と考えます。	B
127	12月19日	上郷	市では防災マップを作っているが、中身がどうか、自分たちもどこに避難するか悩んでいる。最近の気象状況を見ると、突発的な災害に対応できる人材が集落などに少なくなっている。どこに、どのように避難するか、地域からくみ上げて、防災マップに反映してほしい。異常気象で最高気温などを記録しており、水害の発生率が上がっている。リスクが高い地域だと心配になる。防災担当ともよく話し合い、それぞれの地域の実情を把握して、どう対策するか検討してほしい。机上のプランになっているとしか考えられない。災害などで何かあったら写真を撮ってきてくれと言われたこともある。	消防総務課	令和3年4月に全戸配布した「遠野市土砂・浸水ハザードマップ」(以前の「防災マップ」)は、岩手県から指定された想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域を示しています。 千年に一度級とされるこの想定最大規模の降雨は、科学的な知見や研究成果を踏まえ、利用可能な水理・水分観測、気象観測等の結果を用いて岩手県が設定したものです。 このデータをもとに浸水区域や、土砂災害警戒区域外の指定緊急避難場所や指定避難所を選定し、新たに指定緊急避難場所の追加もしました。なお、指定避難所等を決定する際は、地域から意見をいただき、過去の災害や道路状況、地域の利便性を考慮して指定しています。 なお、「地区別防災研修」の実施を計画しましたが、コロナ禍のため多くの人を集めることができず、市民周知が不十分と考えています。今後も継続した研修会を開催し、地域防災力の強化を図っていきます。	A
128	12月19日	上郷	消防や、防災の方では防災マップを作りましたと言っている。それは本当に大丈夫か。昔の地図を見ると水害が発生するか分かる。各地域で違うので話し合いをしてほしい。	消防総務課	なお、「地区別防災研修」の実施を計画しましたが、コロナ禍のため多くの人を集めることができず、市民周知が不十分と考えています。今後も継続した研修会を開催し、地域防災力の強化を図っていきます。	A
129	12月19日	上郷	農業法人を経営しており、働き手が5人いるが、そのうち3名は70歳以上。担い手の育成が緊急の課題。後継者の手伝いをしながらやらなければいけないが、後継者を作るような組織が必要。こがらせ農産も一緒だと思う。	農林課	遠野市集落営農組織連絡協議会(事務局:花巻農業協同組合)が主体となり、遠野市集落営農実践塾や県主催の情報交換会など各種研修会の場においても、後継者の確保・育成についての研修や情報交換が行われています。 また、雇用就農者の賃金補助に相当する国の支援制度なども充実している状況であることから、地域でも雇用就農者の確保に向け、協力をお願いします。	B
130	12月19日	上郷	親を施設に入所させるのに何年か待った人も多くいると思う。介護の学校は、釜石に介護専門学校を作るような話もある中、どのように設置するか考えているのか。生徒が入ってくれるか心配。釜石は沿岸もあるが、遠野で果たして何人きてくれるか。そういう課題もあると思う。もし誘致した場合、学校の建設地は上郷で願います。	健康長寿課	市が直営で設置するのではなく、民間主導による「介護専門学校の創立」を検討するものです。入所施設整備では、建物を造るのみならずそこで働く人材が必要ですが、全国的に介護人材の不足が今後も継続すると見込まれており、大きな課題のひとつです。 少子化により、各種学校・大学ともに定員割れが生じていることは認識しておりますが、あらゆる可能性を排除せずに介護職員の人材育成・確保に対応すべきと考えています。 民間主導による創立のため、具体的な学科や定員、設置場所は未定ですが、介護施設に併設された2年制の専門学校が現在の構想のベースとなります。	C

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
131	12月19日	上郷	人口減少、空き家問題、耕作放棄地の課題を広げないために、今の財産を、どう処分するかという意識をみんなが元気なうちに、この土地と道具を残すか考える環境が必要。土地などを新たな人に渡すような仕組みを作れば、少しでも減らすことはできると思う。農地を買うには、農地を既に持っている人しか買えない。新しい人も買えるようにして、回せる仕組みを考える必要がある。	農業委員会 農林課	全国で所有者不明の土地や管理されず放置されている土地が増えている状況にあり、土地に関する新たな仕組みづくりが重要であると捉えています。 遠野市においても、農業者の高齢化や人口減少に伴い、管理されない農地が年々増加しており、農地の保全や耕作放棄地対策が大きな課題です。基盤整備や耕作条件改善のための支援策の充実、担い手等への集積及び集約化や、新たな農業従事者の育成支援など、様々な角度の取組が必要だと考えています。 なお、農地の売買、贈与、貸借は農地法に基づき行われており、農地を既に持っている人以外でも農地を取得することができますが、要件が定められており、この要件をすべて満たす必要があります。 【参考】許可要件 ①自ら農地の全てを効率的に耕作 ②農作業に常時従事(年間150日以上) ③取得後の経営農地面積が10アール以上(遠野市の場合) ④地域との調和 ⑤法人の場合は農地所有適格法人	A
132	12月19日	上郷	国土調査はなかなか進まないが、もっとスピード感を持ってやらないと、次の世代で土地が確定してしまっても、さてどうするとなってしまふ。耕作放棄地なども減らさう。	建設課	国土調査進捗率は令和2年度末で87%です。 事業費の国の内示額が不安定な中、国庫補助事業に市の財源を加算して国土調査事業を実施しており、現在は土淵町柵内地区の調査を進めています。 今後も境界が不明確になりつつある山間部を優先した調査を進めます。	B
133	12月19日	上郷	空き家は中の物を片付けることができなく、処理が面倒で貸せないという人が多い。	観光交流課	市では、空き家の有効活用を目的に、空き家リフォーム工事のほか、空き家の中にある家財道具の整理に要する費用に対しても一部助成を行っています。 今後も助成制度について関係機関と連携し、空き家の売却または賃貸を希望する所有者へ広く情報提供していきます。	A
134	12月19日	上郷	遠野市には、2,200件くらいの空き家があったと思う。固定資産税などで税務課の職員も苦勞していると思う。所有者が亡くなっても登記を変更せず、そのままの場合もある。固定資産税が徴収できない場合もある。今の固定資産税はどのくらいか。	税務課	固定資産税の納税義務者が死亡した場合は、相続登記の有無に関係なく調査を行い、相続人の中の相続人代表者に納税通知書を送る流れとなっています。 令和3年度固定資産税の当初賦課額は、13億8千万円で令和3年12月末現在の相続人がいない死亡した納税義務者分の税額は、563,200円です。	B
135	12月19日	上郷	中山間の見直しで、放棄地が増えているが国からの予算だけでなく、遠野独自の取組など、組織だった取組はできないか。 補助金が下げられ、荒れた状態みたいになっている。環境保全も行っている地区はそのお金もあり、解消できている部分もあるが、全部を解消できているわけでない。なんらかの形で補助できないか。	農林課	令和3年度から、農業委員が中心となり、地域の中で貸し出しを希望する農地の掘り起こしを行っています。 その結果を受け、地域農業マスタープランの地区検討会の場において、マッチングに向けた話し合いを予定しており、地域住民が主体となった問題解決に向けた話し合いの場を提供していきます。	B
136	12月19日	上郷	集団でやっている所さえ、農地が荒れている所もある。減作で草地で利用している人もいるが、米農家で集積し、多く借りている人の所さえ、荒地を出している所がある。 遠野市で一本の中山間組織を作っていくことはできないか。	農林課	市内で中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる組織のほとんどが、集落単位での組織となっています。各集落が抱えている農業生産活動の課題は様々であり、実情に合わせて課題解決に向けた共同活動を進めています。 また、組織の広域化は制度上可能であり、広域化を希望する集落があれば、その支援を行います。	C

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
137	12月19日	上郷	体育館は暖房が半分切れている。指定管理が始まっているが、施設の老朽化の問題もある。このままでは地区センターの老朽化が進めば、負の遺産になってしまう。予算委員会を聞いていたが、地区センターの改修が出ていなかった。今後の地区センターの改修の見直しなどを聞きたい。 今日の参加者が多いのは、上郷町の期待の現れだと思う。	市民協働課	上郷地区センターの改修工事については、令和4年度に実施設計を行い、令和5年度に工事を施工する予定となっています。	B
138	12月20日	松崎	八幡市営住宅を壊しているが、跡地はどのように活用していく予定であるのか。	建設課	市の施策として、分譲による一時的な歳入と長期的な税収入の試算とともに、総合的な利活用の比較検討を重ね、方針を決定していきます	B
139	12月20日	松崎	今年は、八幡市営住宅の草刈りなども行っているようではないし、子どもが通学とかで通るのにもあまりよくない。洗濯機が捨てられたりしており、管理を心配している。管理が施設管理サービスから、他の業者に変わったという話も聞いているが、しっかり管理してほしい。	建設課	市営住宅の管理は、今年度から指定管理者による維持管理を開始しました。指定管理者が直営にて対応するほか、自らが修繕等できない場合には、施設管理サービス等に工事を依頼して対応しています。 八幡住宅の解体に伴う空き地の草刈りは、これまで同様の対応としながらも、繁茂状況や範囲、対応回数などを考慮して計画的に実施していきます。	B
140	12月20日	松崎	白岩児童館について、市長から遅れるという話があったが、地域ではそう言った説明は受けていない。 市の都合で事業が遅れるなら、遅れるということを地域にきちんと説明してほしい。	子ども政策課	白岩児童館の改築については、遠野北小学校・遠野健康福祉の里をエリアとした面の整備計画に位置付け、議論を進めています。具体的にお示しできる段階になりましたら地域への説明の機会を設けます。	B
141	12月20日	松崎	八幡住宅は福祉住宅ということになっているが、住んでいる方が少ない。高齢者だけではなく、母子家庭や父子家庭などに貸しても良いのでは。 若い人がいれば、高齢者に何かがあった時に携帯電話で緊急連絡できるなどの対応もできるのでは。	建設課	遠野市営住宅等長寿命化計画により、八幡団地(2階建て)あるいは早瀬団地の建替えを進めるにあたり、福祉住宅への入居要件に合致する方の住替え用として確保しているため、新規入居募集をしていません。 両団地の建替えが進むことにより、募集開始の目的を判断できるようになります。	C
142	12月20日	松崎	子どもが遊ぶ所が少ない。運動公園も冬期間は開いていない。年中子どもたちが遊べる場所が欲しいと思うし、みんなが集まれる場所や、受験生が入れない場所(図書館)などを解消してほしい。	子ども政策課	市内には、都市緑地、街区公園、市民運動公園、農村公園、地域公園、都市公園、児童遊園及び広場等など30カ所以上の公園があります。 遠野市には、都会には無い豊かな自然があることから、自然の中で子どもたちの想像力を育み、自ら遊び場を作り出していくことも、遊びの場として考えていくことが大切であると思われます。 また、受験生の居場所に関しては、コロナの感染状況にもよりますが、市役所本庁舎のフレキシブルスペースを有効に活用してください。	C
143	12月20日	松崎	共働きの家庭が多い中で、中学生のいる場所がない。地区センターなどに19時頃までいられるようになれば良いという思いがある。	子ども政策課 市民協働課	中学生の居場所の必要性とのことで新たな視点として受け止めました。中学生あるいは高校生を育てる共働き家庭の支援にとどまらず、地域において誰もが気兼ねなく立ち寄れるスペースとして、小さな拠点は大きな可能性があるものと考えます。	C
144	12月20日	松崎	水田の転作作物への交付金について、例年一反歩あたり3万5千円が交付されていたが、来年度から1万円になるとの情報がある。既に来年の生産計画を立てているときに、このような大幅減というのは、経営の見直しとして厳しい。 賃上げなど、会社員は守られているが、農業はこのような状況になっている。現在、牛の価格はある程度高めとなっているが、飼料代も高い状況であり、決して安定しているとは言えない。市としてはこの現状をどう考えているか。	農林課	交付金の見直しに関しては、唐突な見直し案の提示であり、本市の農業振興に与える影響は大きいことから、関係機関・団体とも協議を進めながら支援策を検討しているところです。 また、県内市町村やJA等とも連携しながら、要望や対応策の検討を進めています。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
145	12月20日	松崎	以前は高清水牧野にも放牧していた。放牧の監視員が、きちんと監視の仕事をしていないという話を聞いている。 また、牛の状態がかなり悪くなるまで放っておいてから飼い主に連絡があり、結局亡くなってしまう事例などもある。 遠野で放牧する方が経費が掛からないが、そのために牛の状態が悪くなってしまうのは経営に影響が大きいので、畜産振興公社を改善してほしい。	畜産園芸課	令和3年度から、牧場再編により荒川牧野及び寺沢牧野の2箇所放牧事業を行っています。 日々の監視業務の徹底と体調不良等の家畜がいる場合には、早めに畜主や獣医へ連絡するなどの確認をしていますが、改めて徹底を図ります。 また、過去に起きた疾病等の原因や対応について検証し、市・公社職員・監視員全体で情報共有しながら、安心して放牧できる体制づくりに努めます。	B
146	12月20日	松崎	水田転作というのは、牧草を採取して、一反歩3万5千円もらっているだけと思われるかもしれないが、農地を借りる費用や肥料代もかかっている。北海道では、国へ緊急要望しているので、遠野市でも声を上げてほしい。	農林課	交付金の見直しに関しては、唐突な見直し案の提示であり、本市の農業振興に与える影響は大きいことから、関係機関・団体とも協議を進めながら支援策を検討しているところです。 また、県内市町村やJA等とも連携しながら、要望や対応策の検討を進めています。	B
147	12月20日	松崎	行政への苦情について、地区センターから職員が引き上げたが、どのように届けばいいのか。 花巻市役所では、苦情が直接市長に届くようになっており、市長から幹部職員に苦情への対応を指示する仕組みになっている。 市民との信頼関係、行政の効率化に良いシステムだと思っているので、検討していただきたい。	総務課	市ホームページの「市長への手紙」を利用したメールや、庁舎や地区センターに配置している「なんでも相談箱」等を通じて市長に直接ご意見や提言をいただいています。より一層市民の皆さんの声が届きやすい行政組織となるよう信頼関係の構築に努めます。	A
148	12月20日	松崎	松崎町8区だが、ここ数年で急激に家が建ち、道路が通るなどしてきているが、排水をもともとあった水路に接続しているため、下流側がのみ込めなくなっている。 地区内の道路が、集中豪雨の際に冠水するなどしている。	建設課	農地帯が宅地化されることにより生じる問題であり、農地、宅地の混在する地区が抱える不具合と思われます。市では土地売買を制限することはできず、後から水路等の整備を行うしかないのが現状です。	C
149	12月20日	松崎	遠野市全体の治水計画を見直しするのか。	建設課	遠野市では、市全体の治水計画を策定していません。河川台帳も未整備の状況です。遠野市のインフラは昨今の異常気象に対応できないことも認識したうえで、利用できる土地も限られていることから、市内各地に貯水施設を整備していくことが必要と考えます。	D
150	12月20日	松崎	お昼時間しか市役所に行けない場合があるが、市民課など、節電のためか電気が消えていて暗くなっている。 暗くなっていると入りづらく感じてしまう。市民が行きやすい窓口にしていただきたい。	市民課	窓口がある課において、お客様の手続きに支障が無い範囲で、お昼時間に一部消灯しています。室内の明暗の環境と節電とのバランスを考慮しつつ、照明に配慮していきます。 また、窓口の職員に限らず、全職員がきちんと挨拶することで、市役所のどの部署でも、明るい雰囲気の中で手続きができるよう、職員一人ひとりの意識・接遇向上に努めます。	B
151	12月20日	松崎	国道340号の交差点から緑峰高校までの道路に歩道が無い。通勤の人たちが車を飛ばすし、通学の小中学生や緑峰高校の生徒が危ない思いをしている。 予算が必要なので、すぐにはできないと思うが、検討をお願いしたい。	建設課	道路新設、市道拡幅、歩道設置事業を行う場合は、地権者の皆様に道路用地提供について、協力していただくことが必要となります。	D
152	12月20日	松崎	八幡住宅跡地について、夢のあるような整備計画を作っていただきたい。 地元の若い人も参画したかたちで、計画づくりをしてほしい。	建設課	市の施策として、分譲による一時的な歳入と長期的な税収入の試算とともに、総合的な利活用の比較検討を重ね、方針を決定していきます	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
153	12月20日	松崎	松崎町は、バイパスが開通して以降、以前は田だったところや、農道の脇に家が建てられており、水路がきちんと整備されていないところが多いので、その辺の事情をくんでほしい。	建設課	農地帯が宅地化されることにより生じる問題であり、農地、宅地の混在する地区が抱える不具合と思われます。市では土地売買を制限することはできず、後から水路等の整備を行うしかないのが現状です。	D
154	12月20日	松崎	今の松崎地区センターは間借りである。市長がこれから地区センターが進化していくという話をしているが、単独の松崎地区センターを作ることを考えていないか。	市民協働課	松崎地区センターを単独整備することは、考えていません。これまで同様に総合福祉センターの施設を活用しながら、地域活動の支援等を実施していきます。	D
155	12月20日	松崎	この施設は、総合福祉センターということで社協の建物になっているが、建てる当時の段階から、社協と松崎地区センターが一緒に入るという想定で整備している。資金についても、市がほとんどを出しているのだから、間借りとは言っても、お互い対等に使うということが良いのではないかと。	市民協働課	地区センター施設の在り方、管理の方法等については、これまでの経緯を踏まえながら、どのような方法が良いか改めて考えていきます。	B
156	12月20日	松崎	松崎地区センターでは、社会福祉協議会と委託契約を結んで、施設の貸し出しなどの業務を行っている。 このような施設をいくつも建てる必要があるかという思いもあるが、本音を言えば単独の松崎地区センターが欲しい。市と社協との契約内容について、町民に分かりやすいようにしてもらえれば良い。	市民協働課	松崎地区センターを単独整備することは、考えていません。これまで同様に総合福祉センターの施設を活用しながら、地域活動の支援等を実施していきます。	B
157	12月20日	松崎	市職員がレベルが高くなってきていて、若い職員はいい意見やアイデアを持っているが、それが市政に反映されていないと思う。それを取り上げていけるような仕組みを作してほしいと思う。 若い人たちの意見を聞く場を作り、いい案があれば取り上げてほしい。少ない人数で業務をしなければいけないので、職員のレベルを上げる教育をしてほしい。	総務課	事務事業の見直しや効率化を図るとともに、若手職員が積極的に意見・提案を行える職場づくりを行い、職員の能力向上に努めます。	A
158	12月20日	松崎	障がいのある方は手帳を見せるとタクシー代が一割引きになるが、その割引分は運転手さんの取り分だけが減る仕組みと聞いたことがある。 全国的にそういうことのようにだが、市で何とかできないか。	市民協働課	障がい者手帳、運転経歴証明書(運転免許返納)を提示すると運賃割引(一割引き)されますが、給料が歩合制の運転手の場合、乗車運賃で給与計算されるため、収入が少なくなることがあるようです。 タクシー事業者が実施している制度ですが、制度の実態を確認しながら、市の支援の在り方について検討していきます。	B
159	12月20日	松崎	無農薬で自然と調和した農業をやりたいと思い、都会から移住してきた。 都会にいる農業をやりたいと思う人たちは、同じように無農薬でやりたいという思いは強い。しかし、農業未経験で失敗することも多く、せっかく借りた農地を荒らしてしまい、返してくれということになる場合もある。 また、販路についても苦慮しているようであり、いろいろな機関に相談しても、いい解決につながらないことが多くある。 有機農業などは、大規模な農地より、山間の耕作放棄地などが向いているのではないかと。	農林課	山間の耕作放棄地となっている農地は、湿田や用排水路未整備、道路が狭い、鳥獣被害等の条件の悪い農地が多く、生活の便も悪い状況にあります。 耕作条件が良い農地でも、少子高齢化による労働力不足により、休耕している農地が増えてきていることから、条件の良い休耕農地を把握して斡旋し、新規就農者が安心して営農できるよう関係機関と連携して支援をしていきます。 有機栽培は、各農家がそれぞれの農地特性に合わせた方法を研究実践しており、確実なお手本はありませんが、新規就農への意欲や将来的なブランド化へもつながっていくよう、専門機関から指導協力を得ていきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
160	12月21日	綾織	行政の仕事の在り方について。デジタル化など行っているが、遠野市役所の場合、非常に自分の職分だけを守っているように感じる。横の連携がないので、データが加わるべきなのに加わっていない。連携などが良い方向に働いていないと感じる。民生委員をしているが、問い合わせなどをすると回答がもらえない。個人情報保護もあると思うが、何の反応もないのが残念に思っている。	福祉課	ご提言にありました件については、その時点で対応させていただいたものと認識しておりますが、意図が十分に伝わらなかった点につきましてお詫びいたします。今後、地域での情報共有の在り方、継続的な情報更新・管理について充実を図ってまいりますので、引き続きご協力をお願いします。	B
161	12月21日	綾織	民生委員の業務に関連して問い合わせしても反応が薄い。支え合いマップにも関連するが、私が見ても落ちている部分があると思った。聞いたら連絡がなかったからと言っていた。横の連携がないからだと思う。窓口業務でも似たようなことがあると思う。	福祉課	地域福祉に係る情報共有の在り方・管理については内部検討を進め、充実を図ってまいります。	B
162	12月21日	綾織	綾織は、第1次産業の農業が盛んで、田園都市綾織と言われていたが、今は言われなくなったと思う。あきたこまちで4120円と安くなっている。このような苦難に立ち向かっている方をどういう仕組みで支援するか。建物や道路は計画してできるが、農業はそうはいかない。水稲などの値段を農協とタイアップしたり、市民と話し合ったりして、どう持って行こうとしているのか。	農林課	これからのほ場整備は、水稲ばかりではなく高収益作物が作付け可能となるよう暗渠排水を整備するなど水田の汎用化に取り組んでおり、ピーマン、アスパラ、ネギ、ほうれん草などの高収益作物の作付けを推進しています。農業経営の規模、生産方式、経営管理の方法、農業従事の態様等に関する営農の類型ごとの、効率的かつ安定的な農業経営の指標となる営農類型の見直しを行っています。	B
163	12月21日	綾織	一つの成功例のような形をやらせて、上手くいったら他の地区などにも真似させるなどの考えはないか。何年までに形にしたいと考えているか。細かいことも多いが、細かいところまで手助けできるような仕組みを作ってほしい。	農林課	ほ場整備事業では、推進委員会が中心となって営農ビジョンを作成し、ほ場整備に取り組んでいます。その結果、宮守川上流、こがらせ農産、上郷農産等の農業生産法人が設立され、六次産業化などが進められています。これからほ場整備を計画している地区(達管部金取地区、土淵町高野・似田貝地区、綾織町綾織新里地区、上郷町平野原地区)も同様にビジョンの作成をする予定です。	B
164	12月21日	綾織	長岡バス停の桜並木の東屋が柱4本が外れ、根が腐っている。観光交流課に行き、桜並木の景観なども悪く、お願いに行った。2回言っても返事がなかった。三回目で返答があり、堤防は県の堤防だということで木の伐採をもらった。東屋の方も一部対応はしてもらったが、根元の方はそのままであり、風が強いと倒壊する恐れがある。舗装についても言っているが、木の根が出ていて、自転車道といっても走りづらく危険だと思うので、市から県に言ってほしい。	観光交流課	管轄する県南広域振興局遠野土木センターへ申し伝えた経緯がありましたが、丁寧な引継ぎを行う必要があったと感じています。管理については、県南広域振興局遠野土木センターが行っておりますので、本市から申し伝え、速やかに対応する旨の連絡がありました。	A
165	12月21日	綾織	清養園保養センターが今月で閉園するが、色々な町の人が使っている。遠野町からきている人とも、ここが無くなったら大変だと話すが、どこかにお風呂を作る予定はないか。水光園は冬期間、あの上り坂が怖い。遠野には空き地がいっぱいあるので、平らな所にお風呂を作ってほしい。	政策担当	市民の皆様が利用することのできる公衆浴場の整備については、中心市街地に整備する案などを検討してきた経緯がありますが、実現は不透明な状況です。当面は、たかむろ水光園を利用いただくことが基本となることから、送迎バスの運行や市民割引などの仕組みを構築し、利用しやすい環境を整えていきます。	C
166	12月21日	綾織	市長は農業の関係で一次産業の見える化を打ち出しているが、農家は赤字になっており、この先が心配。今年は、米価下落があり、農業に対する意欲も低下してし、高齢化も進行している。最低価格保証のような制度を取り入れ、原価がここであれば、補助をするといったものを検討してほしい。集約化などをした上で、そうした団体に補助をするといったような考えがあっても良いと思う。	農林課	収入保険をはじめとした公的な所得補償制度があることから、まずはそれらへの加入(活用)を推進しています。その上で、現在の新型コロナウイルスのように、それらの補償制度では補い切れない部分への支援について、積極的に行っていきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
167	12月21日	綾織	消防団は令和4年4月1日に再編となる。団員が少なくなり、確保が難しいこともあり、消防の部の再編をすることのだが、総体数が減ると、いざ、災害が起きたときにどう対応するのか、対応できるのか心配な点もある。 新しい団員の確保のための案として、市役所消防班をなくし、市役所職員に地域の消防団に入ってもらふことや、他自治体で行っている新採用職員を強制的に消防団に入れ、消防団の活動を学ぶ機会を作るといったことで、地域の消防団員を確保するのはどうか。	遠野消防署	機能別分団市役所班は、災害等の後方支援活動等を行う目的で編成したものです。遠野市役所で新採用された職員へは、職員研修時に消防団への加入促進を行っており、市役所班だけではなく、地元消防団へ入団するよう促していきたいと考えます。 また、消防団員の入団を促すため、魅力発進のためポスター掲示、各消防団へ加入促進用のDVDの配布、成人式等のイベントでチラシ配布、のぼり掲示、消防団協力事業所の増進等を行っておりますが、入団者の増加につながっていない状態です。 団員数を増やすことは重要なことですので、これからも加入促進に努めるとともに、退団者をくい止めるために、消防団員の処遇改善を含めた活動内容の改善を進めます。	B
168	12月21日	綾織	消防団員の全体数が少ないので、いざ災害に対応するとなったとき、例えば水害などは夜中でも出動する必要がある。全体数が少ないと、そのようなところに対応できなくなるかもしれない。そもそも定員割れしている。 再編の理由は、団員数が少ないので、上手く機能させていくには再編するしかないという事が第一だった。 市役所班というものの必要性を検討して、もし必要でなければ地域に返し、地域で消防活動をしてもらう必要があると思う。	遠野消防署	市役所班に入団していた職員が、地元消防団員に配置換えとなった例は、これまでに数件あります。今後、市内在住で地元消防団への配置換えを希望する職員は、地元へ配属となるよう声がけをしていきます。 団員が少なく少人数で活動している部は、行事や災害活動に苦慮している現状にあり、部の統合を行うことで、部の人的体制の強化を図りながら、処遇改善等に取り組んでいきます。	B
169	12月21日	綾織	高齢化が進み、自分の子が親を見るという時代ではなくなってきたと思う。高齢者の一人暮らし、夫婦2人暮らしの世帯も増えてきてると思う。介護認定を受けている方は、介護サービスを受けることができる。しかし、身体は病気などがなく健在でも足腰が弱っている高齢者もいる。そのような方がタクシーを使った際に、国民年金で暮らしている人のタクシー代を割引にしたり、収入に応じた支援があれば、自分の子頼りではなくなったり、生活の援助になったり、移動が楽になると思う。年金が多い人と普通の人の差はあると思うが、市の方で援助するような方法があったら良いと思う。 免許返納していない人もいるが、早めに返納をすると警察からタクシー料金が1割引きになるようなものをもらえるという話を聞いたが、1割では少ないと思う。	市民協働課	免許返納者については年々増加傾向にあることから、今後の動向を見ながら対策を検討していきます。 なお、路線バスについては、毎週火・水・金曜日に定額低料金バスを運行しており、対象の曜日にバスを利用いただいた場合、全区間一律200円(200円以下の路線は100円)で乗車することができます。 新たな地域交通体系を考えていく必要性も感じており、バスの路線を短くし、本数を増やしたり、地区センターを中心にバス停まで行くシステムを作る対策も必要であり、具体的に検討を始めている地区も出てきています。 また、自動運転等の技術革新を導入した新たな公共交通体制の検討にも着手します。	B
170	12月21日	綾織	4区大沢地区の支え合いマップづくりに取り組んだ。核家族の高齢化が進んでいると感じた。ゴミ出しの問題が出てきた。2カ所のごみ集積所があるが、田中地区と5班の25、26世帯の方が1箇所集積所を使っていて、遠い所の人達が車を使えなくなると来れなくなると思う。近くの所にごみ集積所を作る取組をしたいと思うが、その時の費用などを市が助成してくれるのか。お金の所も考えながら相談していきたいと思うが。	環境課	ごみ収集効率の観点から、可能な限り既設の集積所を利用していただき、地域の実情に応じて必要な場合には、10世帯以上の利用を原則として、当該自治会等による費用負担で設置していただいています。 新設に係る費用については、「みんなで築くふるさと遠野推進事業費補助金」を活用し、各町単位でごみ集積所の整備を事業化するなど、補助金と自治会の費用負担により整備を行っている事例があります。 なお、高齢者のごみ出し支援は、課題と捉えており、関係者・団体と連携して、集積所新設以外の方策を検討していく必要があります。	B
171	12月21日	綾織	遠野テレビで朝の8時半までに出してと周知されているが、足腰が弱く、自分で朝出せない方もいて、夕方に出す方達も増えている。朝8時半までだと、きつく言えない暗黙のルールもあるので、一概に朝以外に出してはいけないということもできないと思う。 特別な事情がない人たちもルールを破るかもしれないので、その班の中で了解があればいいのかなと思う。	環境課	配慮を要する方が収集日の前日などにごみ出しをすることは、集積所を管理する自治会等の了承のもと、実施いただいて構いません。	A
172	12月21日	綾織	バスに乗車した際に一人で使う時もあった。喫緊の課題だと思う。	市民協働課	路線バスは利用状況に応じて随時見直しを行っています。今後も状況に応じて適切に見直しを行います。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
173	12月21日	綾織	議会広報は誰がチェックするのか。セクハラについて記事が読みにくかった。被害者の名前も出ていて、二重被害になったと思った。議員の質を上げるには議員間での研修も必要だと思う。子ども達は良い記事が載るが、大人はダメだなと思われたくない。一回目の時も新聞に出すことではなかったと思う。教える方がいればあそこまでいかなかったのではないと思う。	政策担当	いただいたご意見は議会事務局にお伝えしました。	B
174	12月21日	綾織	遠野市の予算は国の依存度が大きい。子ども達の代の時に良いのかと思う。そこはどう思っているか。	財政担当	予算の約7割は国等の依存財源に頼っている状況です。 将来世代への大きな負担を残すことなく、安定した財政基盤を構築するため、令和3年度から令和7年度を実施期間とし、具体的な方策と主要三基金残高、市債発行額や市債残高目標値等を定めた第四次健全財政5カ年計画を確実に実行していきます。	B
175	12月21日	綾織	若者の定住のためには税金を上げる必要があるが、遠野の給料が安すぎる。働くのは、最終的に税金のため。遠野の賃金はレベルが低すぎる。誘致企業が来たらある程度の賃金の保証はするべき。	商工労働課	令和4年度の事業において、市内の雇用状況について調査を実施する予定であり、その結果に応じて、必要な対策を実施します。 一方、働く側の能力開発も今後必要と考えます。そのための従業員のリカレント教育(学び直し)の機会創設に向けて検討していきます。	B
176	12月21日	綾織	基幹産業をどうするのか。農業なのか、観光なのか。農業でやるならもっとお金をかけるべき。観光はHPを変えてもっとPRするべき。	観光交流課 農林課	遠野の基幹産業は一次産業と認識しています。遠野市農林水産振興ビジョン(通称:タフビジョン)を策定し農林水産振興に取り組んでいるほか、国及び県の補助事業の導入、関係機関と連携した営農支援、農村振興、景観保全活動といった多面的機能の維持保全活動など総合的な一次産業の振興施策を実施しています。 しかしながら、米価をはじめとする生産物の市場価格の下落や担い手の不足、有害鳥獣の被害対策など課題が山積していることから、関係機関や地域の皆様と協力しながら課題解決の取組を着実に進めていきたいと考えています。 観光PRについては、観光振興及び誘客に向けて、遠野市ホームページでの情報発信を強化するほか、観光やイベント等の情報発信をしている(一社)遠野市観光協会ホームページの充実が図られるよう、助言、支援を行っていきます。	B
177	12月21日	綾織	市民センターを1週間に1回利用する。駐車場は屋根がないところは雨等が降ると大変。車をぶつけられるときもある。雨でぐちゃぐちゃになるのを何とかできないか。	市民協働課	利用者の利便性を考慮しながら、適正な駐車場の管理に努めています。	A
178	12月21日	綾織	地区センターの相談員さんとか、清掃員さんなどは頑張っている。普通の給料で良いのではと思う。もう少し高くしてほしい。	市民協働課	地区センターは、指定管理者制度により地域団体に運営管理を委託しています。指定管理者である地域の判断で、変更することも可能と考えます。	B
179	12月21日	綾織	情報発信を外に丁寧に発信していると思う反面、まだ足りないと思う。一方、ここに住んでいる人達にも発信するべき。子ども達の社会見学の手続きをもっとスムーズにするべき、手続きが大変。大人も工場見学しやすくなるようなパッケージも用意する必要があると思う。 子ども達が遠野に残ろうと思えるような。	商工労働課 学校教育課	子ども達の社会見学については、令和2年度遠野版キャリアパスポートの策定に併せて、市内企業・事業者等135社から協力をいただき、社会科見学やキャリア教育(職場見学や職場体験、出前講座等)の受入に協力いただける企業、事務所一覧表及び各個票を作成し、児童生徒のキャリア形成に役立てています。 令和4年度から市内外の方へ向けて、市内企業が魅力を発信できる事業を開催する予定です。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
180	12月21日	綾織	子どもの居場所、遊ぶ場所がない、花巻の広域公園に行ったりした。遠野に他から来て、気軽に遊べるような、例えば風の丘の近くにドックランなどの他地域からも来て、一日過ごせるような場を作ってもらえれば。	こども政策課 市民協働課	市内には、都市緑地、街区公園、市民運動公園、農村公園、地域公園、都市公園、児童遊園及び広場等など30カ所以上の公園があります。 公園や遊具の整備を求めるニーズは多いと認識しており、他の事業と連携し、必要性、緊急性を考慮しながら、検討していきます。	C
181	12月21日	綾織	住んでいるところの近くに立派な木があるが、切らなければいけないが切れない。間伐もできない。どうしたらいいかとなったときに市の政策の一つとして、森林を生かすような施策を打ち出していたら、山を守ってほしい。	農林課	令和3年3月に「ふるさとの森を育み木と暮らすまち条例」を制定し、森林の整備と木材利用を進めていくこととしてます。 この条例に基づき、市では森林整備に対して約9割の補助が出るように支援しています。補助の申請は、遠野地方森林組合が窓口になっています。	A
182	12月21日	綾織	遠野市の議会を見たが、市長と議員のやりとりを聞いたりしたが、質問に対する答えを聞いたときに初めての答弁にしてはすごく考えていると思った。 遠野市はなんで農業なのか。観光なのか。何でいったらもっと盛り上がるのか。どう考えているのか、今の現状を見直しながらかっていきという言葉が出てきた。 若い人達が定住するまちとして、釜石でもお産できなくなり、近くに産婦人科がない。コロナの関係で盛岡の病院などでは里帰り出産は対応しないと聞かれたと聞いたこともある。産婦人科が遠野にあればと思う。	医療連携室	国では、小児科・産科の医師偏在問題への対応については、医療資源の集約化・重点化の推進が当面の最も有効な方策であると示し、県内には4つの周産期医療圏が設定され、医療機関の機能分担と連携の下、分娩リスクに応じた医療提供体制の確保が図られています。 市では、こうした機能分担と連携の下、複雑多様化する妊産婦を取り巻く環境などに対応するため、遠野市助産院ねっと・ゆりかごによる妊婦健診や妊婦訪問、各種相談、救急搬送対応のほか、妊産婦の産前産後ケアの充実にも力を入れているところであり、今後においては、産婦人科医と小児科医の招へいを図り、女性と子どものかかりつけ医として、出産前から子育てに至る支援の充実を図ります。	B
183	12月21日	綾織	歴代の市長が、今の素晴らしい遠野を作ってきた。 こども本の森に行ったが、素晴らしいところだった。遠野には良いところがいっぱいある。それらをつなげていけば、もっと魅力が高くなり、若い人で遠野に残ろうと思う人も多くなると思う。	こども本の森 運営企画室 観光交流課	伝承されてきた古き良き歴史・文化を大切に守ってきた遠野市は、「こども本の森 遠野」のオープンを契機とした情報発信力の高まりにより、子育て、地域づくり、観光、交流人口拡大、インバウンド等の、さまざまな分野での効果が期待できます。 また、「こども本の森 遠野」をはじめとする市街地の施設や、郊外にある観光施設などを回遊し、遠野の魅力を活かせる企画等を検討していきます。	B
184	12月21日	綾織	公園の話がでたが、今ある公園は遊びつくしてしまった。本当は子ども達の遊びは水路に葉っぱを投げたり、オタマジャクンで遊んだりすることで良い。できれば公園のようなものは自然のもので作ってもらえれば嬉しい。	こども政策課 市民協働課	市内には、都市緑地、街区公園、市民運動公園、農村公園、地域公園、都市公園、児童遊園及び広場等など30カ所以上の公園があります。 遠野市には、都会には無い豊かな自然があることから、自然の中で子供たちの想像力を育み、自ら遊び場を作り出していくことも遊びの場として考えていくうえで、遠野ならではの視点で重要と思われます。 整備された人工物の遊び場だけではなく、遠野の子どもたちには、豊かな自然の中で思う存分に遊んでほしいと思います。	C
185	12月21日	綾織	広報遠野の市長の記事で、郷土料理が載っていて、訪れた方の喜びになり、おもてなしにもなると思う。郷土料理を作る習慣が少なくなっていると思うので、遠野市民のみんなが見れる広報の食育レシピに載せてもらえれば郷土料理が浸透するのではと思う。	政策担当 食育推進課	広報遠野では平成22(2010)年5月から、「～100年先まで残したい遠野の味～」と題し、各町の遠野市食改善推進員さんのご協力のもと、郷土料理を紹介してきました。「100年先まで残したい食育レシピ」などとタイトル名称を変えながら、平成27(2015)年5月号まで、計58回にわたって「遠野の味」を掲載しています。その後は、「栄養満点♪食育レシピ」と、内容を変更しながら掲載を続けています。 郷土料理は遠野の財産であり、伝承すべきものであると認識しています。過去に郷土料理を紹介してきた経過を踏まえながら、「遠野の味」をお伝えできる機会の創出を検討していきます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
186	12月21日	綾織	千葉家は、令和9年度に完成予定になっている。観光するにも、千葉家一つだけではダメ、遠野全体のフルコースを考えなければいけない。 新田遺跡は、高速道路が開通したらやると言われたが、一向に話が進まない。今日は聞くだけで良いので、令和9年に遠野全体を巡るようになってほしい。一つの計画ではなく、結び付けた観光発信をしてほしい。ネットなどを活用して。	文化課	遠野市では、緊急性の高い重要文化財千葉家住宅の保存修理を優先的に実施しており、令和9年度に全ての工事が完了する予定です。 綾織新田遺跡は、縄文時代の極めて重要な遺跡として、国の史跡に指定されており、指定直後に整備の計画策定を進めておりましたが、隣接地での釜石道の整備や千葉家の修理事業の開始など、財政的な観点から一旦保留としています。 令和9年度の重文千葉家の工事完了にあわせて、遠野市全体の豊富な文化的資源を周遊できる観光資源として活用していくため、広くアイデアを募りながら検討を行います。	C
187	12月21日	綾織	行政区再編に併せて、遠野市で持っている委員会、事務局、団体などを見直す時期に来ていると思う。団体の中には、半数が辞めていくものもある。防犯協会は市民センターが事務局となっているが、そういうところも見直す必要がある。 明るい選挙推進協議会の活動は、実際にはされていないのではないかと。	政策担当	地域の皆様に様々な委員や団体役員を担っていただいていることは承知しており、協力いただいていることに大変感謝しています。 「小さな拠点」を進めていく中で、各種団体等も整理統合していくことは必要であると認識しており、市民の皆様の意見を伺いながら、見直しを進めていきます。	B
188	12月22日	土淵	小烏瀬川の本宿頭首工に溜っている砂の定期的な撤去と、水門の管理をお願いしたい。	建設課	本宿頭首工は、農業用水として河川占用許可を得ているため、農業用以外の水の使用は原則として許されていません。 そのような中、農業用のほか、防火用、観光用として水を利用している実態があるものと認識しています。利用者すべてがかかわる水利組合を組織し、取水量の調整等を行うことが望ましく、維持管理は利用者が行うべきと考えます。	D
189	12月22日	土淵	カッパ淵の河床に溜っている砂の定期的な撤去と草刈り、除雪等の周辺環境整備をお願いしたい。	観光交流課	昔の“カッパ淵”は、今にもカッパが出てきそうなほど深く、薄暗くて、雰囲気のある小川であったと聞いています。 本流である小烏瀬川自体の川砂が本宿頭首工からカッパ淵(蓮池川)に流入してくるため、川砂を除去してもすぐに溜まってしまうのが現状です。 このことについては、河川を管理する県南広域振興局遠野土木センターに申し伝えます。また、草刈りや除雪等の周辺整備については、当該地区は遠野遺産に認定されていることから、地域自治会や近隣事業者と協議を重ねていきます。	B
190	12月22日	土淵	市道河童淵東線の拡幅や歩道の設置をお願いしたい。	建設課	市道拡幅、歩道設置が事業化された際は、道路用地を提供いただくこととなるので協力をお願いします。また、道路拡幅予定地の地権者が、道路用地として土地を提供してもよいという意向があるかどうか確認が必要です。	D
191	12月22日	土淵	貞任高原水芭蕉群生地の環境整備と管理についてお願いしたい。	観光交流課	当該地区の水芭蕉群生地は、国有林であるため、東北森林管理署と遠野市との間で協定を締結して市が管理を行っています。しかし、平成27年にニホンジカによる食害のため、広範囲にわたって荒らされ、一時は水芭蕉の死滅が懸念されたところでした。 近年は、毎年4月から12月までの期間中に設置される電気柵の効果から、以前の状況に回復しつつあります。 当分の間は、現在のように電気柵を設置して、群生地の再生を優先しつつ、倒木や遊歩道の更新なども検討していきます。	A

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
192	12月22日	土淵	山口分校の跡地について、昭和53年に統合になってから40年以上経過した。旧体育館が残っているが、建物は崩れて、屋根も落ちている危険な状況。近くには消防コミュニティセンターもあり、新行政区の中心となる。そのような場所に旧体育館が残っているのは、いかがかと思っている。 歴代の区長も悩んできている。市に対応をお願いしたが、地元で払い下げているので、地元で何とかしてくださいと言われた。しかし、どうしようもなく、荒れたままの状態となっている。	管財担当	山口分校については、昭和53年、廃校に伴い山口地区へ払下げとなっています。地元へ払下げされた建物については、払い受けた地元で処分していただきたいと考えています。	D
193	12月22日	土淵	遠野にはすごい資源がある。温暖化対策、SDGsなどが言われている中で、風力発電、メガソーラー、川の水、山には木がある。 私は、10数年前から薪ストーブを使っているが、各地区センターでも薪ストーブを使ってはどうか。薪ストーブで発電であれば、停電時に暖も取れるし、調理や発電もできるので災害対策になる。	農林課	市では、温室効果ガス削減を目的に、薪ストーブの普及を進めており、薪ストーブを新規に設置したり、新品の薪ストーブに買い替えたご家庭や事業所に対し、市内で使える商品券による助成を行っています。 また、公共施設に木質バイオマスボイラーを積極的に導入しており、一部の地区センターで導入し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。 冬場の暖房を、化石燃料から木材に変えることで、温室効果ガスの削減のほか、市内林業・木材産業の振興につなげていきます。	B
194	12月22日	土淵	所信表明は非常に分かりやすく、私たち市民に語りかけてくれる内容だった。「主役は市民です」という言葉には感動した。 支え合う小さな拠点づくりによる持続可能な地域づくり。土淵町がいち早く手を挙げて、取組を進めている。 私は松崎町の者であるが、土淵町の老人クラブに入会させてもらっており、こんなに老人クラブが楽しいのか、と感じさせていたいただいており、その恩返しとして、地域づくりを良い方向にもっていきたいと考えている。 ポニーの活用などを考えているので、アドバイスをお願いしたい。	畜産園芸課	ポニーを活用した地域活性化事業の構想については、地区センターを通じて情報を共有しています。事業の実現に向けた課題については、市内の事例を確認し、可能な範囲で情報を提供いたしますので、ご相談願います。 なお、ポニーを活用したイベント実施については、1事業あたり10万円を上限とする「馬とのふれあい創出事業費補助金」の活用が可能と考えます。	A
195	12月22日	土淵	市長は、安心安全な周産期医療の確保のため、医師の確保に努めると表明している。今のお母さんたちが、ほかの市に受診に行っているという話を耳にしている。 地域で安心して子育てできるように、産婦人科と小児科の医師の確保をお願いしたい。	医療連携室	国では、小児科・産科の医師偏在問題への対応については、医療資源の集約化・重点化の推進が当面の最も有効な方策であると示し、県内には4つの周産期医療圏が設定され、医療機関の機能分担と連携の下、分娩リスクに応じた医療提供体制の確保が図られています。 市では、こうした機能分担と連携の下、複雑多様化する妊産婦を取り巻く環境などに対応するため、遠野市助産院ねっと・ゆりかごによる妊婦健診や妊婦訪問、各種相談、救急搬送対応のほか、妊産婦の産前産後ケアの充実に力を入れているところであり、今後においては、産婦人科医と小児科医の招へいを図り、女性と子どものかかりつけ医として、出産前から子育てに至る支援の充実を図ります。	B
196	12月22日	土淵	最近新聞に掲載されたが、令和4年度の牧草転作田について、3万5千円の助成額は、播種した年だけで、その次の年からは1万円になる。さらに5年に一度は水張をしなければいけないという内容。 数年前に畜産農家がやりやすいように、畦畔を取り除いてよいという扱いだっただけが、それが今回、畦畔を除いた所は交付対象外となった。これでは、荒れる農地が増えていくことになる。 県内の市町村長と連携して、我々の声を中央に届けてほしい。	農林課	交付金の見直しに関しては、唐突な見直し案の提示であり、本市の農業振興に与える影響は大きいことから、関係機関・団体とも協議を進めながら支援策を検討しているところです。 また、県内市町村やJA等とも連携しながら、要望や対応策の検討を進めています。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
197	12月22日	土淵	圃場整備をしていただき、大豆などをやっている。水稲について担い手が不足している。特に大規模農家に後継者がいない。国が新規就農者の初期投資を補助するという。1千万の50%を国、25%を県、残りが本人。 市外のやる気ある人を担い手として受け入れていくため、25%分を市が持つべきではないかと思う。他市の事例でも、市が独自の上乗せを行って実績を上げている。飼料作物のこともある。耕作放棄地も増えている。国に要望して、大型化している機械を導入できるような仕組みを考えていかないと、耕作放棄地が増えていく。国に対して訴えてほしい。	農林課	新規就農者への助成制度(農業次世代人材投資資金事業)については令和4年度から制度が見直され、経営発展のための投資の支援及び経営開始のための資金の支援となる方向が示されているが、現状では詳細が示されていないことから、情報収集を行いながら、就農者ごとに最適な制度活用を提案していきます。 また、担い手農業者の機械導入については、国、県とも導入に係る補助制度を準備していますので、導入にあたってはご相談願います。	B
198	12月22日	土淵	圃場整備した条件のいい所しか、担い手さんは借りてくれないという現実がある。県の支援事業があるが、組織が対象であり、個人の農家は対象外になっている。そういうやる気になっている個人農家を、市独自で支援することをお願いしたい。草刈りが地域の課題となっている。多面的などで草刈りを行っているが、草刈りではなく除草剤でも対象にしてもらえないかと要望したが、だめとのことであった。	農林課	多面的活動での除草剤使用については、県に直接相談した際に、基本は草刈りを対象とする旨の説明があったと聞いています。草刈作業を基本としながら、補助的に除草剤を活用することは可能とされているので、範囲・頻度についてご相談ください。	B
199	12月22日	土淵	民生委員はコロナ禍で訪問活動もままならない状況である。行政区再編によって、1・2・3区が一緒になる。民生委員は世帯数だけで決まるものではなく、エリアの広さの問題もある。 民生委員のなり手が少ないのもその通りであるが、定数の考え方について、地域性を見据えて考えてほしい。	福祉課	高齢化及び人口減少が進む現状において、地域の見守り、支え合い体制を推進するうえで民生委員の皆様には重要な役割を担っていただいています。 ご意見にありました民生委員の定数については、遠野市民生児童委員協議会の定例会、行政区再編に係る説明会においても、定数削減に対する不安の声をいただいています。 新しい行政区体制における実際の民生委員活動を通して、民生委員に担っていただくべき役割等の整理を進め、地域の皆様と定数(適正配置)を検討していく方針としています。	B
200	12月22日	土淵	福祉の里で介護申請を受けている方の介護用品を郵送で配っていただいている。以前は民生委員が配って歩くものだったが、コロナ禍ということで郵送となっている。これからもそのようなやり方で進めていただきたい。	健康長寿課	家族介護用品支給事業の対象者に対する申請書等の配布及び回収については、令和元年度まで民生児童委員の協力を得て実施していましたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染予防の観点から、郵送で実施することに改めました。 令和4年度以降にあっても、コロナ禍の収束に関わらず、郵送を基本として実施する方針としています。	A
201	12月22日	土淵	上郷にあるホップの乾燥施設。だいぶ老朽化しているものをホップ農協が市に寄付したが、今後どうしていくのか、市の考えをお聞きたい。	六次産業室	ホップ乾燥施設については、計画的な修繕を行っていくことで関係者を協議を進めており、活用できる財源や制度を検討しています。 また、作業の省力化、後継者対策、ほ場の集約を含めた生産体制、生産目標を明確にして持続可能な取組としていきます。	B
202	12月22日	土淵	コロナウイルスの無料検査所のことが新聞に載っていた。遠野には設置されないとのこと。国は今後、ウイズコロナで進めていくようであり、スマホアプリなども導入しているようだが、遠野市では今後、どのように進んでいくのか。	新型コロナウイルス対策室	県が実施するPCR等の無料受験については、健康等の理由でワクチン接種を受けられない人が、ワクチン・検査パッケージを活用したイベント・店舗・旅行等を利用する際に受けられ、県が設置しています。市内においては無料受験所は設置されていませんが、感染が疑われる方等を対象とした診療・検査機関は、3カ所設置されています。 ワクチン接種については、令和3年12月より医療従事者の3回目接種を開始しており、市内医療機関の協力のもと、早期完了を目指して取り組んでいきます。 なお、電子版ワクチン接種証明書の取得アプリをはじめ、国や県は新型コロナウイルス感染症への対応に特化したスマホアプリを導入していることから、活用に向けた周知・啓発に取り組んでいきます。	A

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
203	12月22日	土淵	北海道・北東北の地震被害想定の話があり、死者2万人の見込との報道がされていた。土淵は数年前に水害にあっている。その際に消防団として見回りなどを行ったが、保育園児の避難支援などをすべきだったと感じている。	防災危機管理課	令和3年12月に政府の中央防災会議は、日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード9クラスの地震が起きた場合、岩手県では最大1万1千人の死者が出るとの想定を公表しました。 地震に対しての避難行動、家具の落下や転倒防止対策、非常持ち出し品の準備など、備えの重要性を改めて市民に周知・広報していく必要があります。 今後、地震に限らず異常気象による大雨や台風を想定した地区ごとの訓練・研修を計画しており、危険エリア・避難場所・避難方法など、各地域に沿った内容により地域防災力の強化を図っていきます。	B
204	12月22日	土淵	ゴミの収集等の仕事をしている。業務の関係で、こまめにマスクを交換しなければいけない。国でアベノマスクが余っているという話もあり、ゴミ処理にあたっている人たちに、配布することなどできないものか。 医療従事者や介護従事者にはいろいろ支援があったようだが、ゴミ処理従事者にも目を向けてもらえないものか。	新型コロナウイルス対策室	令和2年の春から夏にかけてマスクの供給不足が深刻化した際、市は医療機関や福祉施設、学校現場など、クラスター等の発生リスクが高い関係機関・団体等からの要望に基づき、緊急的にマスクや消毒液等の確保を支援しました。 今後、マスク等の供給不足が生じた場合は、エッセンシャルワーカー等をはじめ、市民ニーズの把握に努め、適切な支援につなげるよう対応していきます。 ご提言のあった布製マスクについては、国は余剰在庫の有効活用を図るため個人や団体等への無償配布を実施しました。詳細は、厚生労働省のホームページなどでご覧いただけます。	A
205	12月23日	附馬牛	荒川牧場でシカがすごい。親離れたシカの集団がすごい。役所の人にも見てほしい。秋の閉牧時、馬や牛が痩せていく。シカが牧草を食べてしまい、牧草に栄養が不足しているのではないか、だから草が生えてこないと思う。北海道もそうだが、荒川高原もそうだとは思っていなかった。荒川高原の監視者に罾の免許を取ってもらって、牛、馬を見てもらうほかに罾もお願い出来ればと思う。シカがバラ線を飛んで越えたり、くぐっていったりする。牛も馬も痩せる原因はそこにあると思う。 焼却炉のような処分場も造らなければいけない。	農林課	遠野市のシカの捕獲頭数は県内で最も多く、捕獲頭数も年々増加しています。 シカ対策としては捕獲のみでは不十分であり、農地を守る防除対策を併せて行わないと、被害は減らない状況です。 効果的な防護柵の設置方法や、狩猟免許に関心を持ってもらうための研修会の開催を進めていきます。 シカの捕獲数の増加に伴い、個体処理に課題があることは認識しています。 市では、地中埋却のほか、60cm四方以下に個体を解体することで、無料で遠野中継センターへの持ち込みを可能としています。 関係機関と協議し、より良い個体の処理について検討していきます。	B
206	12月23日	附馬牛	シカの問題で捕まえれば処分をしなければいけない問題はその通り。それを有効活用するのはどうか。あまりシカを食べるような文化がないと思うが、全国的には、シカの肉は高級な素材として注目を集めている。儲けが出るように産業として捉えるような案は市にこれまであったか。 人の食用にする場合は、加工場が必要。動物用であればいい。そういうところから始めても産業となるかもしれない。	農林課	岩手県は放射性物質の影響により、ニホンジカは出荷制限の対象となっています。 県内でも食肉用に捕獲し、食肉処理加工施設において県が定めた出荷・検査方針により管理・検査(全頭検査)して出荷している事例もあります。 放射性物質に対する対応や、事業者、設備資金含め、ジビエ事業を実施するには課題がありますが、実施を希望する事業者があれば市としても協力していきます。	C
207	12月23日	附馬牛	綾織に抜ける道路が冬は通行止めになる。解除は難しいと思うが、維持管理をきちんとしてほしい。側溝が埋まって道路に水が流れている。陥没している所もあるので、夏場は結構重要な道路になっている。	建設課	市道蓬畑東禅寺線の冬期通行止めについてご不便をおかけしています。冬期開通のためには、莫大な費用がかかることから、冬期通行止めを行うことにご理解願います。 維持管理については、現状把握を行い、予算の範囲内で危険な状況の解消に努めます。	D

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日にち	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
208	12月23日	附馬牛	デジタルの望楼ができたが、聞こえにくい。旧タイプの時は、大萩地区で2つあった。デジタルにするという事で一つ撤去したが、1つでは聞こえないから、2つ設置してもらっていた経緯がある。防災面を考えれば、前と同じく2つ設置してもらえればと思う。 撤去されたのは今年。他の地区でも聞こえないという事はあると思う。新しくしてから聞こえるかどうかの調査は行ったのか。	情報連携推進課	今回整備を行ったデジタル防災行政無線は、従来のアナログ方式のものより、より遠くまで音声を伝えることができることから、放送が反響することの無いよう、設置場所や設置個数について、見直しを行い整備を行っています。 ご指摘のあった大萩地区についても、このようなことから、従来2基あったものを1基として整備を行っており、附馬牛地区の整備箇所につきましては、令和2年5月に附馬牛町全戸に図面を配布してお知らせしています。 また、今回の整備に合わせて、個人の携帯端末に放送内容を文字情報で配信するシステムの構築も進めており、準備が整いたい周知をする予定です。	B
209	12月23日	附馬牛	交通網という言葉をよく言うが、診療所が無くなるときに路線バスが走らない所は馬っこバスが走るが、路線バスが走るところは馬っこバスは走らない。なので、馬っこバス(デマンドバス)は地区センターかふるさと村から乗る感じだった。免許返納後、バスに乗るのが大変なので、路線バスの所も馬っこバスを使えるようにしてほしい。タクシーだと2,000円、3000円かかる。年金生活の人には大変。 近所の人達で乗り合せたりするが、もし事故にあった場合どうするのかと言われると何も言えない。簡単に一緒に乗っていいこと言えなくなる。	市民協働課	国の交通制度に則り原状の運行体系を構築していますが、高齢化の進行に伴い、新しい方法を考える必要があると考えています。市全域で一気には実施できませんが、地域の助け合いのシステムの他に、自動運転特区の実証実験も兼ねるなど、財源の確保に努めていきます。	B
210	12月23日	附馬牛	このぐらいの人数が集まっての話し合いはここ2年くらいなかったと思う。 このコロナで密集密接は避けなさいとなった。会合もできない状態で、遠野市はどんな政策してきたのか検証してほしい。コロナを理由にしながら中央集中が進んでいると思う。健康診断は中央だけ。納税の申告も中央だけになった。検証しながら、対話を重ね、新しい遠野を作ることを大前提にしながら進めてほしい。	新型コロナウイルス対策室 健康長寿課 税務課	イベントや集会、会合などの開催については、感染拡大等により中止や延期、縮小などを余儀なくされる場合もあります。 市の各種健診については、会場の利便性や快適性に配慮しつつ、日程に夜間や土日を組み込むなど、市民ニーズを踏まえた受診しやすい環境づくりに取り組んでいます。 同様に、市・県民税の申告受付についても、感染対策を講じられる会場設定に加え、地区の割り当て日以外にも受付を可能とし、混雑が緩和されるよう対応したところです。今後は、場所を問わず24時間申告受付が可能な「イータックス」や、申告書の郵送提出についても周知・普及を図り、利便性の向上に努めていきます。	D
211	12月23日	附馬牛	小さな拠点の意味は分かるが、それには段階があると思う。コロナに伴い対話が足りなかった。何が変わったのか分かっていない。セットで行政区の合併も問題があった。 遠野町、松崎はそのまま。合併の発端は遠野町13区だったと思う。平成25年に第2次進化まちづくり検証委員会が始まり、答申が平成27年に出た。最終提言の中では、小さな拠点も合併も案が出されているが、すべてを迅速に一齐にやる必要はなく、プロセスが大事だと書いてあった。地区の合意形成がされないまま進んでいると思う。望んで合併したところもあると思うが、地域住民がゆっくり何をしていくか、話し合う機会を確保してほしい。 行政区の合併は、まだ時間を作れると思っている。小さな拠点全体ではなく、一緒に決まってしまった行政区の合併の話はまだ時間があると思う。	地域づくり応援室	令和4年度の行政区再編については、新しい行政区の枠組みが決定しています。しかしながら、旧行政区単位の活動を制限するのではなく、時間をかけて新しい枠組みへ移行していただけるよう支援していきたいと考えています。 行政区再編に至るまでのプロセスについては、地域づくり団体、集落自治会対象の説明会を重ねながら進めてきましたが、不十分であったのご意見を数多くいただいています。今後については、地域運営団体と協議の方法論について相談をさせていただきながら進めていきたいと考えています。	B
212	12月23日	附馬牛	消防団の合併の話も出ているが、合併するとなると責任感がなくなると思う。自分が行かなくても誰かが行くとなると思う。徒歩で歩ける範囲の集落で考えるべき。小さな集落をどう助けるかが基本にあり、再編の話は中身があまりないと思う。	遠野消防署	消防団の再編にあたっては、各分団選出の委員による再編検討委員会、再編準備委員会での協議結果に基づき、地域説明会を行った上で再編を行うものです。 組織再編により管轄地域が拡大する箇所もありますが、そのことにより消防団員の責任感がなくなることは無いと考えています。 また、少人数で維持してきた部にとっては、部の統合により消防団員数が増加することとなり、団員の処遇改善も含め、部としての活動内容が変わることで退団の歯止めになり、結果、地域のためになると考えます。	B

令和3年度「みんなの井戸端会議」意見・提言集

【対応区分】 A・・・趣旨に沿って措置したもの B・・・実現に向け努力しているもの C・・・当面は実現できないもの D・・・実現が極めて困難なもの

No.	日	地区	意見・提言内容	担当課	回答	対応区分
213	12月23日	附馬牛	機能別消防団になっているが、附馬牛に2、3人いると思う。いざ、火事になっても、機能別消防団は消防車両で行けない。消防団を引退し元気な人もいるので、もっと増やしていくべき。機能別消防団は保険に入っているの、そういう人を増やせば良いと思う。機能別消防団の報酬は半額だが、1回も出ない人がもっともらっている場合もある。	遠野消防署	職場環境などから、昼間の災害に出動することができない消防団員が増加していることは事実です。そのため出動可能な機能別消防団員の力は有効であると考えています。 しかし、災害現場は危険と隣り合わせであり、二次災害が起きないように指揮者を置き、資機材の故障を避け、最善な活動ができるように機関員を定め災害に対応しています。 そのため、機能別消防団員のみでの活動は避けるべきと考えていますが、退団後も豊富な経験を活かして地域を守ることは、重要なことだと考えており、機能別消防団員の対応について検討していきます。	B
214	12月23日	附馬牛	26、27年前にふるさと村の開村に向け、田んぼの方に自分の家を移転した。道路が弱ってきたから砂利を敷いてほしいと相談に行ったが、できないと言われた。半分が市道で、半分は農道になっている。	建設課	現在、市道等の敷砂利は、砂利を提供し、地域で敷き直し作業を行っていただいていますので、ご理解願います。	C
215	12月23日	附馬牛	地区センターからバイパスの道路に出て、橋を渡って遠野の方に向かうと右手の方に田んぼに行く道路があるが、稲刈りの時期に舗装していて、軽トラ一台通る所を工事していた。稲刈りの最中、1カ月工事をしていたので、作業が大変だった。舗装するから良いと思っていたが、農道だと思っていたら、市道だった。すれ違うことができず、コンバイン1台、自動車1台が通るような道路。忙しくなくなったら、U字構を両脇に入れてほしい。工事の仕上げ方が悪かった。	建設課	舗装工事は冬期に施工できないため、どうしても農繁期と重複することがあります。地元要望をもとに「生活に身近な身近な道づくり事業」で完成することが出来ました。ご不便のなかご協力いただき、ありがとうございました。	B
216	12月23日	附馬牛	民生委員の改選について、人数の問題がある。遠野は人口の割には民生委員が多い方だが、行政区再編に併せて、合併した行政区に一人は、前の会長たちが大変だと反対し現行を維持してもらったが、次はまだ分からないということだった。国の方針などもあると思うが、地方の事情も含めて考えてほしい。	福祉課	高齢化及び人口減少が進む現状において、地域の見守り、支え合い体制を推進するうえで民生委員の皆様には重要な役割を担っていただいています。 ご意見にありました民生委員の定数については、遠野市民生児童委員協議会の定例会、行政区再編に係る説明会においても、定数削減に対する不安の声をいただいています。 新しい行政区体制における実際の民生委員活動を通して、民生委員に担っていただくべき役割等の整理を進め、地域の皆様と定数(適正配置)を検討していく方針としています。	B
217	12月23日	附馬牛	安居台から、矢崎に抜ける道路が手入れされていない。市道として舗装されていないのはあそこぐらい。2キロぐらいあると思う。雨が降ると水があふれる。	建設課	市道矢崎荒屋線は、県道土淵達曾部線の代替道路として重要な路線ですが、現状では未舗装状態となっており、不便をおかけしています。 令和元年度から改良舗装工事を進めていますが、完成までには10年程かかると予想され、計画的に舗装していきたいと考えています。	C
218	12月23日	附馬牛	畜力の活用を提案したい。除草対策でヤギのレンタルをしている地域があったり、羊の毛をセーターの素材に使い産業が生まれたりしている地域もあると聞いた。高齢化が進行しているが、畜力を活用して活性化を図ることもできると思う。 附馬牛は恵まれた環境を持っていて、早池峰、荒川高原、早池峯神社などの誇れる文化が残っている。それらを活用できればとずっと思っていた。外国人の方の中には、雨が降っていても来る人もいる。自然、こがね色の田園風景に魅力を感じる遠野ならではの景観は、非常に魅力だそう。そこに牛や羊が放牧されると、その景観が遠野らしい良い景観になると思う。ジビエの肉の利用も出ていたが、羊なども含め、産業創出の観点で畜力を考えてもらえればと思う。	畜産園芸課	春から秋にかけては耕作放棄地などの除草対策として、羊やヤギを放牧し、田園風景の景観形成を維持していく事例があります。一方では、冬期間は放牧ができないため畜舎での飼養が必要となり、畜舎の確保も併せて考えていかなければなりません。 農村の多面的機能が維持され、良好な農村環境の保全を図るため市民・行政・関係機関または民間企業と話し合いを重ね、畜力を活用した活性化を検討していきます。	C